
国立市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン総合戦略資料 転入・転出アンケート調査報告書

<目 次>

1 調査結果の概要-----	1
2 転入アンケート調査-----	3
3 転出アンケート調査-----	19
4 資料編-----	36

平成 28 年 3 月
国 立 市

1 調査結果の概要

本調査は、他の市区町村から国立市へ転入した方と、国立市から他の市区町村へ転出した方に対し、転入・転出のきっかけや転入・転出時に重視したことなどを質問し、今後の定住人口の維持・確保に向けた施策等を検討する際の基礎資料として活用することを目的に実施しています。

表 1 - 1 調査結果の概要 (1 / 2)

項目	結果の概要
転入アンケート調査	
国立市内に住まいを決める上で重視した点	「通勤・通学の利便性が高い」が最も多く、次いで「住宅の条件（広さ、設備、日当たりなど）がよい」、「家賃や住宅の価格が手ごろである」の順。 - 女性や 30 歳代、夫婦のみ世帯・親子 2 世代では、「住まい周辺の街並みがきれいである」の回答比率が高く、既存の都市景観が人々に国立らしい良好な住環境を印象付ける重要な要素の 1 つとなっていることが分かる。
転入前の市区町村と比べ国立市の方がよい点	「落ち着いた生活できる環境」が最も多く、次いで「都市のイメージ」、「治安」の順であり、国立らしさを醸し出している優れた都市景観や、ゆとりと潤いのある良好な住環境が転入者から高く評価。
転入前の市区町村と比べ国立市の方がよくない点	「住宅購入・賃貸の価格相場」が最も多く、次いで「商業地域・娯楽施設へのアクセス」、「買い物などの日常生活の利便性」の順。 - 属性別にみても、「住宅購入・賃貸の価格相場」は概ねいずれも上位 3 番以内であり、若い世代やファミリー層の定住化を促進するためには、閑静な住宅地として多摩地域の中でも有数の高いブランド力を維持しながら、市内でライフステージに応じた住み替えを誘導するための仕組づくりが必要。
子育て環境について、転入前の市区町村と比べ国立市の方がよい点	「習い事や塾の充実度」が最も多く、「公立小中学校の学力レベル」と「子育て世帯の交流」がこれに次いでおり、「文教都市くにたち」の対外イメージを反映。
子育て環境について、転入前の市区町村と比べ国立市の方がよくない点	「子育て世帯への経済支援の充実度」が最も多く、次いで「産婦人科や小児科の充実度」、「保育所の入所」の順。属性別にみると、「図書館の充実度」を指摘する回答が比較的目立つ。
国立市への定住意向	「これからも国立市に住み続けたい」が「いずれ引っ越したい」を大きく上回る。20 歳代と単身世帯では、自身や家族の仕事上の都合（就職・転勤・転職・退職など）を理由に、「いずれ引っ越したい」が最も多い。
転出アンケート調査	
国立市から転出したきっかけ	「仕事上の都合」が突出しており、次いで「結婚」、「住宅の都合」の順。30 歳代及び夫婦のみ世帯では、「結婚」の回答比率が高い。
転出先として国立市の検討の有無	30 歳代及び 40 歳代では、「国立市も検討した上で、他の市区町村に決めた」が最も多く、これらの年代では持ち家の取得等に伴い、市外へ転出している傾向が伺える。
国立市から転出する際、住まいを決める上で重視した点	「通勤・通学の利便性が高い」が最も多く、次いで「家賃や住宅の価格が手ごろである」、「住宅の条件（広さ、設備、日当たりなど）がよい」の順であり、転入者が国立市内に住まいを決める上で重視した点と同様の傾向。

表 1 - 1 調査結果の概要 (2 / 2)

項目	結果の概要
転出アンケート調査	
転出先の市区町村と比べ国立市の方がよい点	○「落ち着いて生活できる環境」が最も多く、次いで「都市のイメージ」、「治安」の順であり、国立市への転入者と同様に、国立らしさを醸し出している優れた都市景観や、ゆとりと潤いのある良好な住環境を高く評価。
転出先の市区町村と比べ国立市の方がよくない点	○「住宅購入・賃貸の価格相場」が突出しており、次いで「通勤・通学の利便性」、「商業地域・娯楽施設へのアクセス」の順。属性別にみても、「住宅購入・賃貸の価格相場」はいずれも回答比率の第 1 位。
子育て環境について、転出先の市区町村と比べ国立市の方がよい点	○「子育て世帯の交流」が最も多く、「習い事や塾の充実度」がこれに次ぐ。属性別にみても、「子育て世帯の交流」はいずれも上位 2 位以内となっているのが特徴的。
子育て環境について、転出先の市区町村と比べ国立市の方がよくない点	○「図書館の充実度」と「子育て世帯への経済的支援の充実度」は、国立市への転入者と同様に回答比率の上位 3 位以内。
今後の国立市への移住意向	○「住みたい (20.5%) 」と「条件が合えば住みたい (59.1%) 」は合計 79.6% で「住みたくない」の 17.3% を大きく上回る。
国立市に再び住みたい理由	○「住まい周辺の街並みがきれいである」が最も多く、次いで「住まい周辺が閑静である」、「住まい周辺の治安が良い」の順。

2 転入アンケート調査

(1) 調査の概要

調査の目的

本調査は、他の市区町村から国立市へ転入した方に対し、本市へ転入したきっかけや転入時に重視したことなどを質問し、今後、新たな定住人口の確保に向けた施策等を検討する際の基礎資料として活用することを目的としています。

調査の方法

表 2 - 1 - 1 調査の方法

調査方法	アンケート調査票の配布・回収ともに郵送
調査対象	平成 27 (2015) 年 6 月 15 日時点で 20 歳以上 49 歳以下で、かつ過去 5 年以内に他の市区町村から国立市へ転入してきた男女 500 人
調査期間	平成 27 (2015) 年 7 月 21 日～ 8 月 7 日

回収の状況

表 2 - 1 - 2 有効回収率

配布数 (件)	有効回収数 (件)	有効回収率 (%)
500	141	28.2

調査の項目

表 2 - 1 - 3 調査の項目 (1 / 2)

大項目	具体的な質問項目
1 基本属性	1) 性別
	2) 年齢
	3) 職業及び通勤・通学先
	4) 家族構成
	5) 子どもの有無及び就学段階
	6) 現在の住まいの地域
	7) 国立市での居住年数
	8) 世帯の収入
2 以前と現在の住まい	9) 転入前の居住地
	10) 転入前後の住まいの形態
	11) 最寄り駅及び徒歩による自宅までの所要時間、通勤・通学先と自宅までの所要時間 (転入前後)
3 国立市への転入理由等	12) 国立市への転入のきっかけ
	13) 転入先として他の市区町村の検討の有無、国立市以外に検討対象とした市区町村
	14) 国立市内に住まいを決める上で重視した点
3 国立市のよい点・よくない点	15) 転入前の市区町村と比べ、国立市の方がよい点・よくない点
	16) 子育て環境について、転入前の市区町村と比べ、国立市の方がよい点・よくない点 (Q5で「中学生以下の子どもがいる」と回答した方を対象)

表 2 - 1 - 3 調査の項目 (2 / 2)

大項目	具体的な質問項目
4 国立市への定住意向	17) 今後の定住意向、「いずれ引っ越したい」と回答した方に対しては、その理由と転出先の検討対象とする地域

集計結果の注意事項

次項に掲載した図中の比率 (%) は、小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、率の合計値が 100%にならない場合があります。また、複数回答は、回答者数を母数とし、比率を算出しているため、率の合計値は 100%になりません。

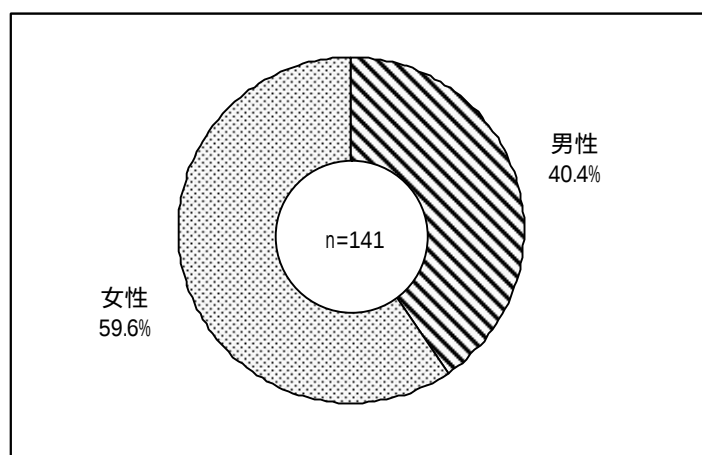
(2) 調査の結果 (一部抜粋)

基本属性

- 1 性別

- 「女性」が 59.6% (84 件) で過半を超えており、「男性」は 40.4% (57 件) となっています。【図 2 - 2 - 1】

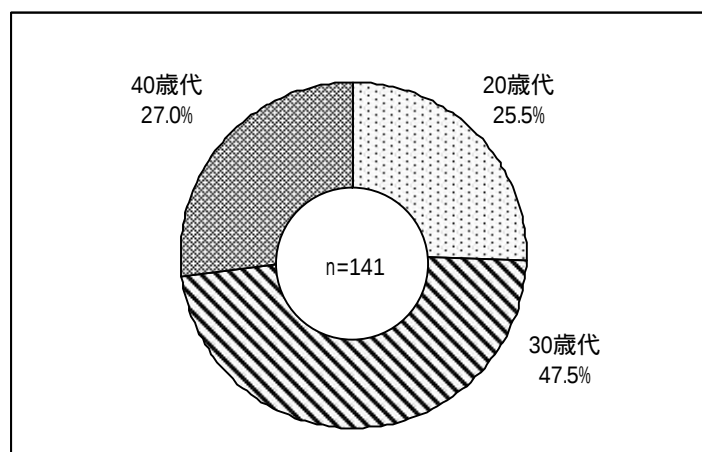
図 2 - 2 - 1 性別



- 2 年齢

- 「30 歳代」が 47.5% (67 件) で最も多く、次いで「40 歳代」の 27.0% (38 件)、「20 歳代」の 25.5% (36 件) の順となっています。【図 2 - 2 - 2】

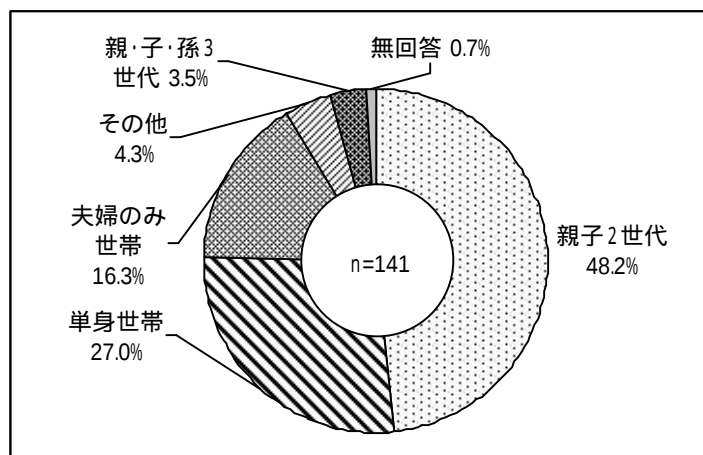
図 2 - 2 - 2 年齢



- 3 家族構成

- 「親子2世代」が48.2%（68件）で概ね過半を占めており、次いで「単身世帯」の27.0%（38件）、「夫婦のみ世帯」の16.3%（23件）の順となっています。【図2-2-3】

図2-2-3 家族構成



- 4 子どもの有無及び就学段階

- 「子どもはいない」が51.1%（68件）で過半を占めており、次いで「2人」の24.1%（34人）、「1人」の22.7%（32件）の順となっています。【図2-2-4】
- 子どもの就学段階では、「就学前」が63.4%（52件）で突出しており、小学生が26.8%（22件）でこれに次いでいます。【図2-2-5】

図2-2-4 子どもの有無

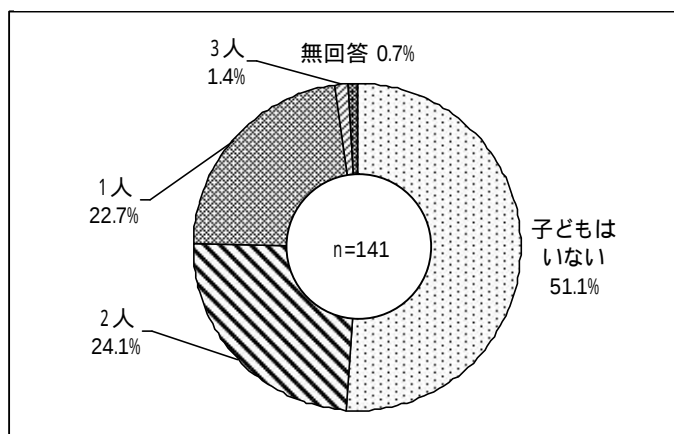
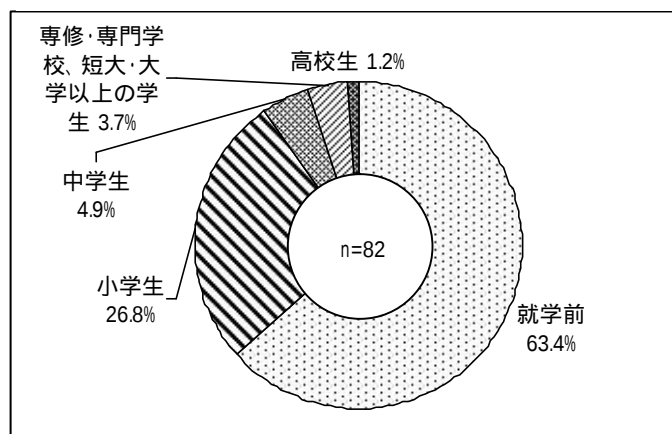


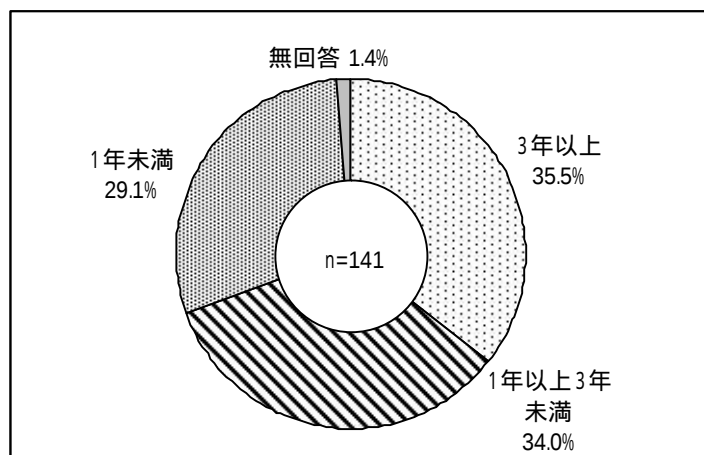
図2-2-5 子どもの就学段階



- 5 国立市での居住年数

- 「3年以上」が35.5%（50件）で最も多く、次いで「1年以上3年未満」の34.0%（48件）、「1年未満」の29.1%（41件）の順となっています。【図2-2-6】

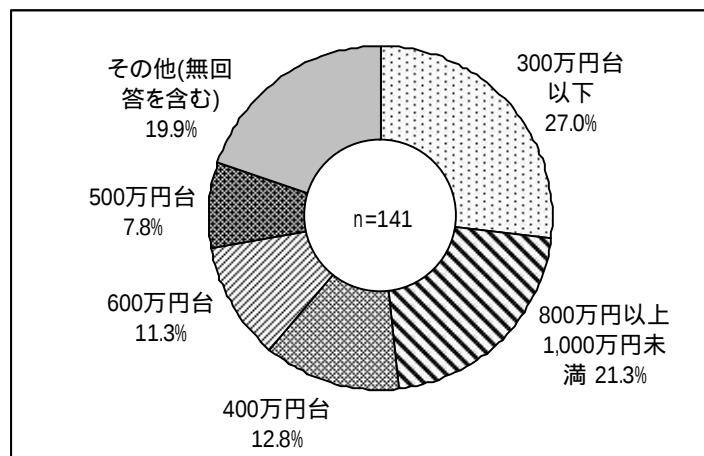
図2-2-6 国立市での居住年数



- 6 世帯の収入

- 「300万円台以下」が27.0%（38件）で最も多く、次いで「800万円以上1,000万円未満」の21.3%（30件）、「400万円台」の12.8%（18件）の順となっています。【図2-2-7】

図2-2-7 世帯の収入



国立市への転入理由等

- 1 国立市への転入のきっかけ

- 20・40 歳代は「仕事の都合」、30 歳代は「住宅の都合」が最も多い -

- 全体では「仕事上の都合」が 31.9% で最も多く、「住宅の都合」が 26.2% でこれに次いでいます。属性別にみると、20・40 歳代は「仕事上の都合」、30 歳代及び夫婦のみ世帯・親子 2 世代では「住宅の都合」が最も多くなっているのが特徴的といえます。【図 2 - 2 - 8、表 2 - 2 - 1】

図 2 - 2 - 8 国立市への転入のきっかけ

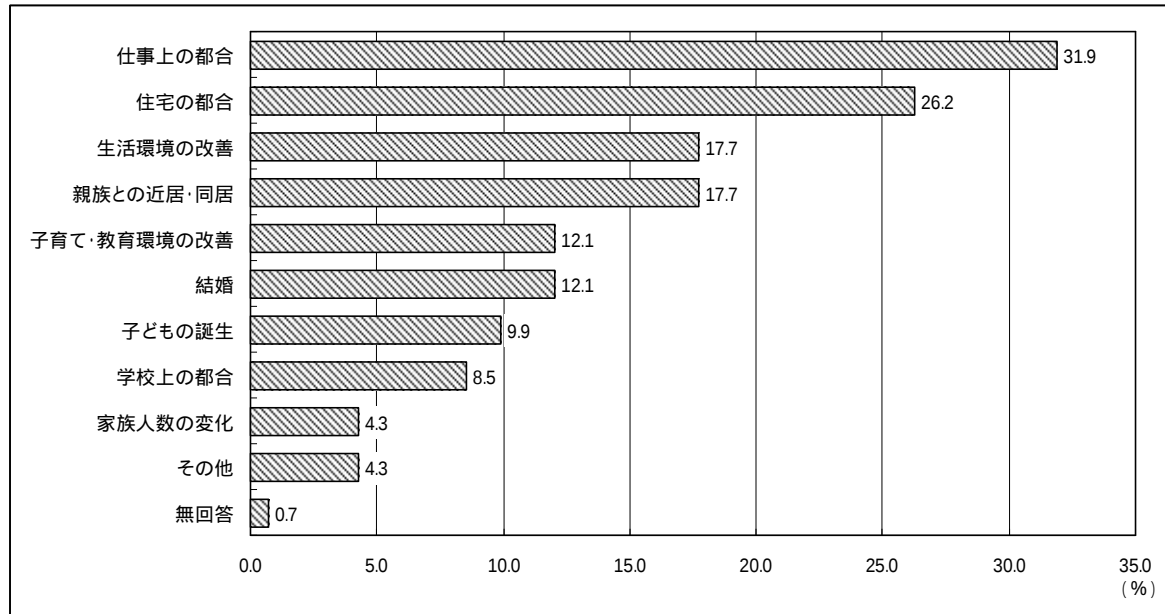


表 2 - 2 - 1 国立市への転入のきっかけ
(網掛けは回答比率の第 1 位)

		合計	仕事上の都合 (就職・転職・退職など)	学校上の都合 (進学・転校など)	結婚	子どもの誕生	子育て・教育環境の改善	親族との近居・同居 (親・兄弟姉妹との近居・同居など)	家族人数の変化 (家族の独立・離婚・死別など)	生活環境の改善 (交通・買い物の利便性、治安、医療・介護環境など)	住宅の都合 (持家の購入・相続、賃貸住宅の借り換えなど)	その他	無回答
全体		実数(件) 205	45	12	17	14	17	25	6	25	37	6	1
		比率(%)	31.9	8.5	12.1	9.9	12.1	17.7	4.3	17.7	26.2	4.3	0.7
性別	男性	実数(件) 86	17	5	6	3	8	10	2	11	22	1	1
	女性	実数(件) 119	28	7	11	11	9	15	4	14	15	5	-
		比率(%)	33.3	8.3	13.1	13.1	10.7	17.9	4.8	16.7	17.9	6.0	-
年代	20歳代	実数(件) 51	18	5	3	2	2	3	3	9	4	2	-
		比率(%)	50.0	13.9	8.3	5.6	5.6	8.3	8.3	25.0	11.1	5.6	-
	30歳代	実数(件) 103	13	3	10	10	8	16	2	13	23	4	1
		比率(%)	19.4	4.5	14.9	14.9	11.9	23.9	3.0	19.4	34.3	6.0	1.5
家族構成	40歳代	実数(件) 51	14	4	4	2	7	6	1	3	10	-	-
		比率(%)	36.8	10.5	10.5	5.3	18.4	15.8	2.6	7.9	26.3	-	-
	単身世帯	実数(件) 40	24	5	-	-	-	-	1	7	3	-	-
		比率(%)	63.2	13.2	-	-	-	-	2.6	18.4	7.9	-	-
居住年数	夫婦のみ世帯	実数(件) 34	5	-	7	-	2	3	-	5	10	2	-
		比率(%)	21.7	-	30.4	-	8.7	13.0	-	21.7	43.5	8.7	-
	親子 2 世代	実数(件) 110	15	6	8	12	13	14	3	12	23	3	1
		比率(%)	22.1	8.8	11.8	17.6	19.1	20.6	4.4	17.6	33.8	4.4	1.5
居住年数	1年未満	実数(件) 62	17	6	4	3	7	6	1	8	8	2	-
		比率(%)	41.5	14.6	9.8	7.3	17.1	14.6	2.4	19.5	19.5	4.9	-
	1年以上3年未満	実数(件) 62	17	2	7	4	2	5	2	11	9	2	1
		比率(%)	35.4	4.2	14.6	8.3	4.2	10.4	4.2	22.9	18.8	4.2	2.1
居住年数	3年以上	実数(件) 79	10	4	6	7	8	14	3	6	19	2	-
		比率(%)	20.0	8.0	12.0	14.0	16.0	28.0	6.0	12.0	38.0	4.0	-

- 2 転入先として他の市区町村の検討の有無

- 「他の市区町村も検討した上で、国立市に決めた」が 59.6% で突出 -

○ 全体では「他の市区町村も検討した上で、国立市に決めた」が 59.6% で突出しており、属性別にみても同様の傾向となっています。【図 2 - 2 - 9、表 2 - 2 - 2】

図 2 - 2 - 9 転入先として他の市区町村の検討の有無

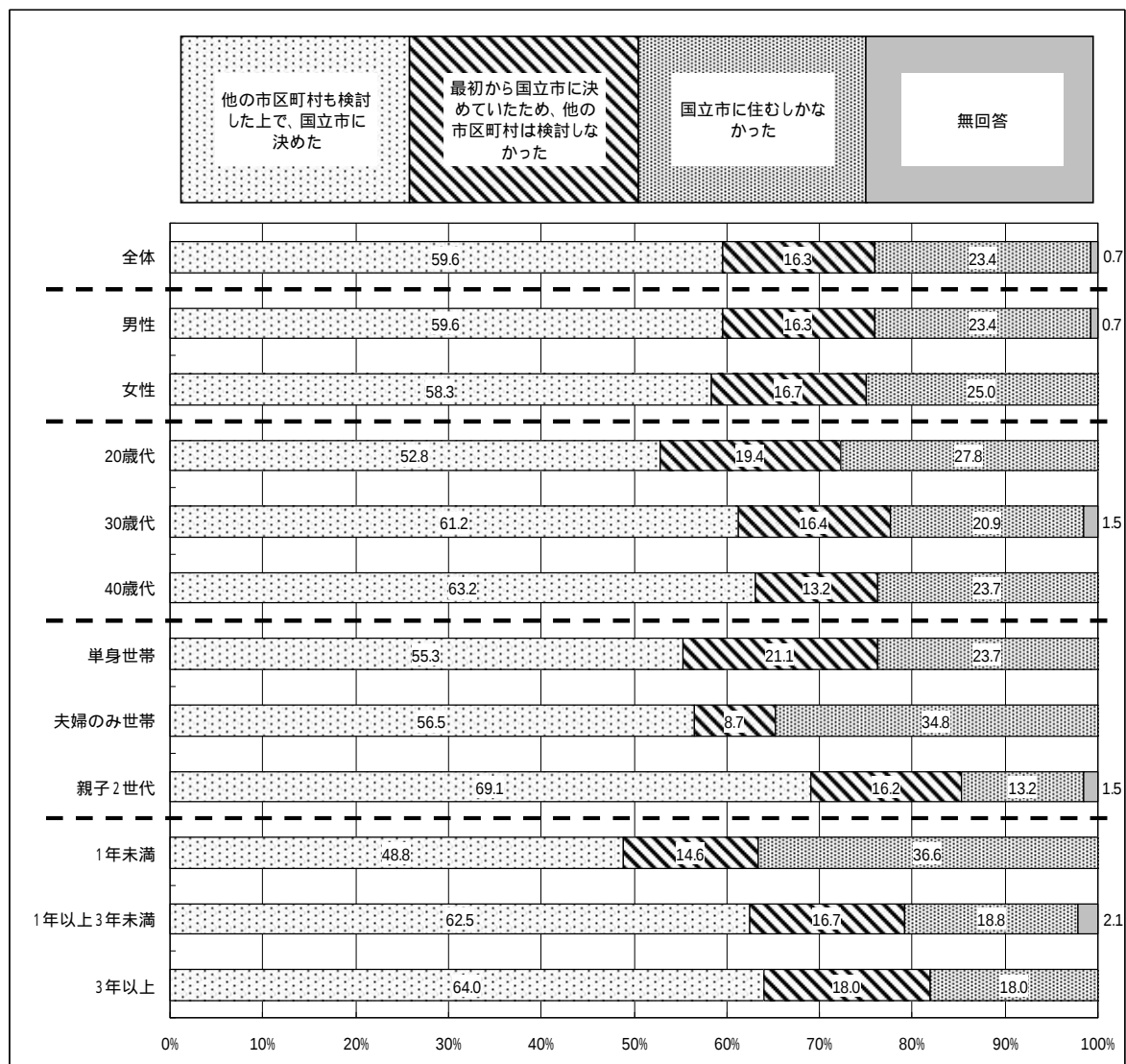


表 2 - 2 - 2 転入先として他の市区町村の検討の有無
(網掛けは回答比率の第 1 位)

			合計	他の市区町村も検討した上で、国立市に決めた	最初から国立市に決めたため、他の市区町村は検討しなかった	国立市に住むしかなかった(国立市の実家に戻った、社宅が国立市にあるなど)	無回答
全体	実数(件)		141	84	23	33	1
	比率(%)		100.0	59.6	16.3	23.4	0.7
性別	男性	実数(件)	57	35	9	12	1
		比率(%)	100.0	59.6	16.3	23.4	0.7
	女性	実数(件)	84	49	14	21	-
		比率(%)	100.0	58.3	16.7	25.0	-
年代	20歳代	実数(件)	36	19	7	10	-
		比率(%)	100.0	52.8	19.4	27.8	-
	30歳代	実数(件)	67	41	11	14	1
		比率(%)	100.0	61.2	16.4	20.9	1.5
	40歳代	実数(件)	38	24	5	9	-
		比率(%)	100.0	63.2	13.2	23.7	-
家族構成	単身世帯	実数(件)	38	21	8	9	-
		比率(%)	100.0	55.3	21.1	23.7	-
	夫婦のみ世帯	実数(件)	23	13	2	8	-
		比率(%)	100.0	56.5	8.7	34.8	-
	親子2世代	実数(件)	68	47	11	9	1
		比率(%)	100.0	69.1	16.2	13.2	1.5
居住年数	1年未満	実数(件)	41	20	6	15	-
		比率(%)	100.0	48.8	14.6	36.6	-
	1年以上3年未満	実数(件)	48	30	8	9	1
		比率(%)	100.0	62.5	16.7	18.8	2.1
	3年以上	実数(件)	50	32	9	9	-
		比率(%)	100.0	64.0	18.0	18.0	-

- 3 国立市以外に転入先として検討した市区町村

- 本市と市域を接する立川市や国分寺市を対象としたとする回答比率が突出 -

- 全体では「国分寺市」と「立川市」がいずれも 40.5%で最も多く、以下、「府中市」の 33.3%、「武蔵野市」の 15.5%、「小金井市」の 14.3%の順であり、上位第 1 位～ 3 位は、属性別にみても同様の傾向となっています。【図 2 - 2 - 10、表 2 - 2 - 3】

図 2 - 2 - 10 国立市以外に転入先として検討した市区町村

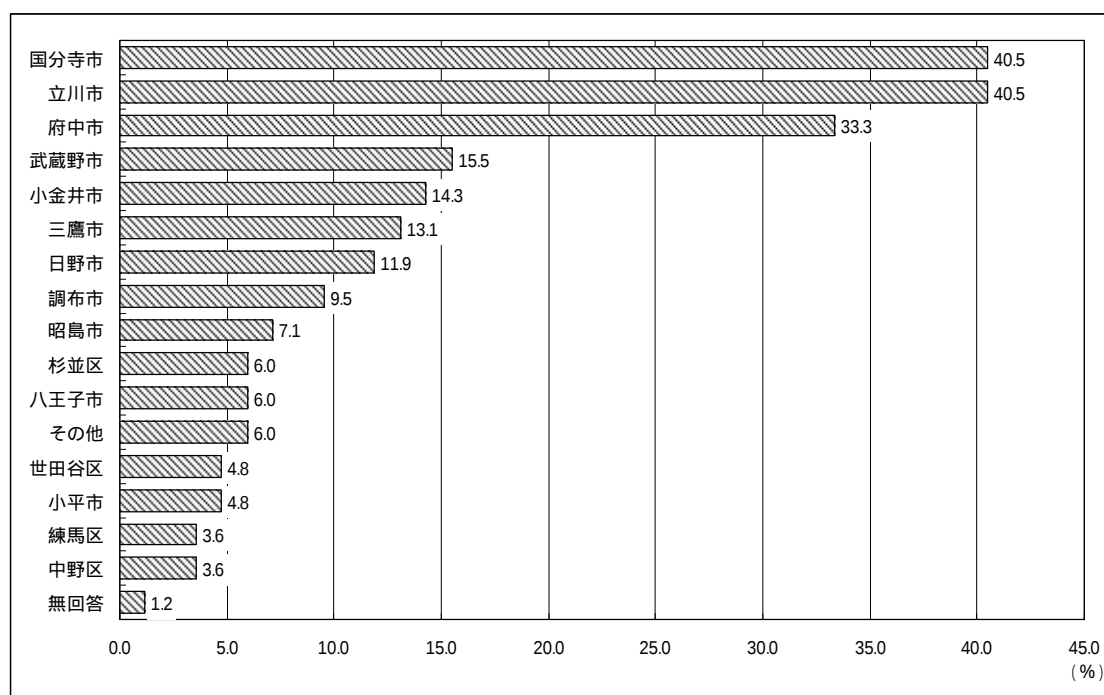
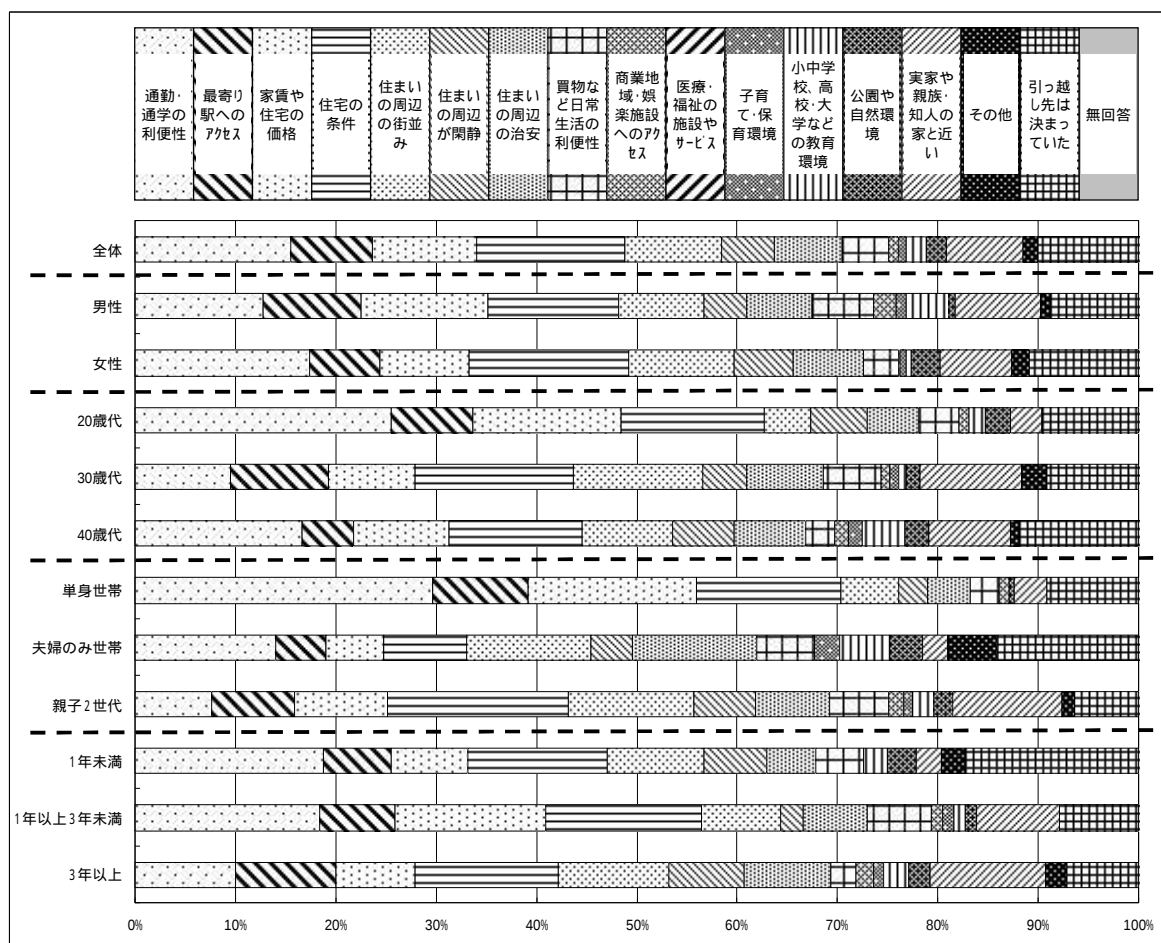


図 2 - 2 - 11 国立市内に住まいを決める上で重視した点（点数の比率）



国立市のよい点・よくない点

- 1 転入前の市区町村と比べ、国立市の方がよい点

- 優れた都市景観やゆとりと潤いのある良好な住環境を高く評価 -

- 全体では、「落ち着いて生活できる環境」が60.3%で最も多く、次いで「都市のイメージ」の49.6%、「治安」の44.7%の順であり、国立らしさを醸し出している優れた都市景観や、ゆとりと潤いのある良好な住環境が転入者から高評価を得ていることが分かります。【図2 - 2 - 12、表2 - 2 - 5】

図2 - 2 - 12 転入前の市区町村と比べ、国立市の方がよい点

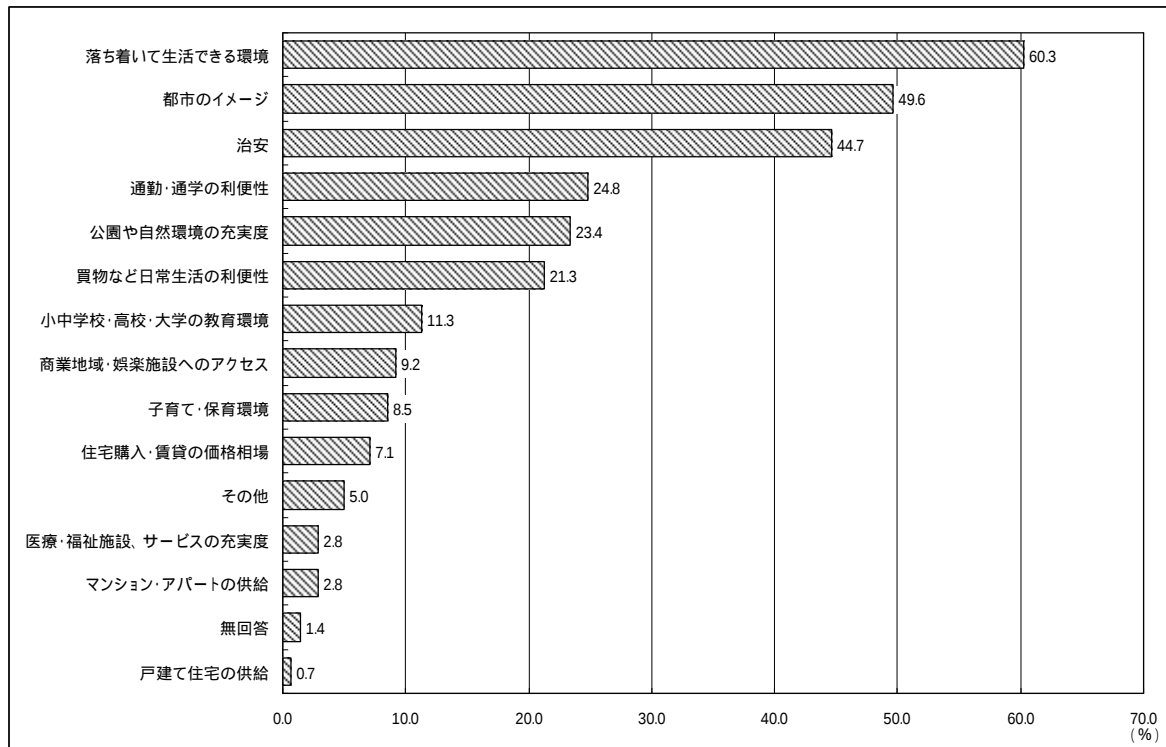


表2 - 2 - 5 転入前の市区町村と比べ、国立市の方がよい点
(網掛けは回答比率の第1位～3位)

		合計	通勤・通学の利便性	戸建て住宅の供給	マンション・アパートの供給	住宅購入・賃貸の価格相場	都市のイメージ	治安	落ち着いて生活できる環境	買物など日常生活の利便性	商業地域・娯楽施設へのアクセス	医療・福祉施設、サービスの充実度	子育て・保育環境	小中学校・高校・大学の教育環境	公園や自然環境の充実度	その他	無回答
全体	実数(件)	385	35	1	4	10	70	63	85	30	13	4	12	16	33	7	2
	比率(%)	-	24.8	0.7	2.8	7.1	49.6	44.7	60.3	21.3	9.2	2.8	8.5	11.3	23.4	5.0	1.4
性別	男性	164	12	-	1	6	30	24	37	16	5	2	6	10	14	1	-
	比率(%)	-	21.1	-	1.8	10.5	52.6	42.1	64.9	28.1	8.8	3.5	10.5	17.5	24.6	1.8	-
	女性	221	23	1	3	4	40	39	48	14	8	2	6	6	19	6	2
	比率(%)	-	27.4	1.2	3.6	4.8	47.6	46.4	57.1	16.7	9.5	2.4	7.1	7.1	22.6	7.1	2.4
年代	20歳代	102	15	1	1	4	14	14	21	10	6	1	1	2	8	3	1
	比率(%)	-	41.7	2.8	2.8	11.1	38.9	38.9	58.3	27.8	16.7	2.8	2.8	5.6	22.2	8.3	2.8
	30歳代	181	9	-	2	1	36	35	40	15	6	2	9	5	17	4	-
	比率(%)	-	13.4	-	3.0	1.5	53.7	52.2	59.7	22.4	9.0	3.0	13.4	7.5	25.4	6.0	-
	40歳代	102	11	-	1	5	20	14	24	5	1	1	2	9	8	-	1
	比率(%)	-	28.9	-	2.6	13.2	52.6	36.8	63.2	13.2	2.6	2.6	5.3	23.7	21.1	-	2.6
家族構成	単身世帯	112	19	-	1	6	16	16	25	12	8	1	-	1	5	2	-
	比率(%)	-	50.0	-	2.6	15.8	42.1	42.1	65.8	31.6	21.1	2.6	-	2.6	13.2	5.3	-
	夫婦のみ世帯	58	3	-	-	1	9	12	15	5	1	-	1	3	3	3	2
	比率(%)	-	13.0	-	-	4.3	39.1	52.2	65.2	21.7	4.3	-	4.3	13.0	13.0	13.0	8.7
	親子2世代	181	8	-	3	3	38	31	40	11	3	3	11	9	20	1	-
	比率(%)	-	11.8	-	4.4	4.4	55.9	45.6	58.8	16.2	4.4	4.4	16.2	13.2	29.4	1.5	-
居住年数	1年未満	109	13	-	2	4	15	16	26	8	4	1	1	5	10	4	-
	比率(%)	-	31.7	-	4.9	9.8	36.6	39.0	63.4	19.5	9.8	2.4	2.4	12.2	24.4	9.8	-
	1年以上3年未満	131	10	1	2	4	27	23	26	12	4	2	3	2	12	2	1
	比率(%)	-	20.8	2.1	4.2	8.3	56.3	47.9	54.2	25.0	8.3	4.2	6.3	4.2	25.0	4.2	2.1
	3年以上	139	12	-	-	2	28	22	31	9	4	1	8	9	11	1	1
	比率(%)	-	24.0	-	-	4.0	56.0	44.0	62.0	18.0	8.0	2.0	16.0	18.0	22.0	2.0	2.0

- 2 転入前の市区町村と比べ、国立市の方がよくない点

- 閑静な住宅地として高い評価を得ている一方、
「住宅購入・賃貸の価格相場」を指摘する回答が多い -

- 全体では、「住宅購入・賃貸の価格相場」が 34.8%で最も多く、次いで「商業地域・娯楽施設へのアクセス」の 31.9%、「買い物などの日常生活の利便性」の 31.2%の順となっています。【図 2 - 2 - 13、表 2 - 2 - 6】
- 属性別にみても、「住宅購入・賃貸の価格相場」は概ねいずれも上位 3 番以内となっており、若い世代やファミリー層の定住化を促進するためには、閑静な住宅地として多摩地域の中でも有数の高いブランド力を維持しながら、市内でライフステージに応じた住み替えを誘導するための仕組づくりが必要と考えられます。【同上】

図 2 - 2 - 13 転入前の市区町村と比べ、国立市の方がよくない点

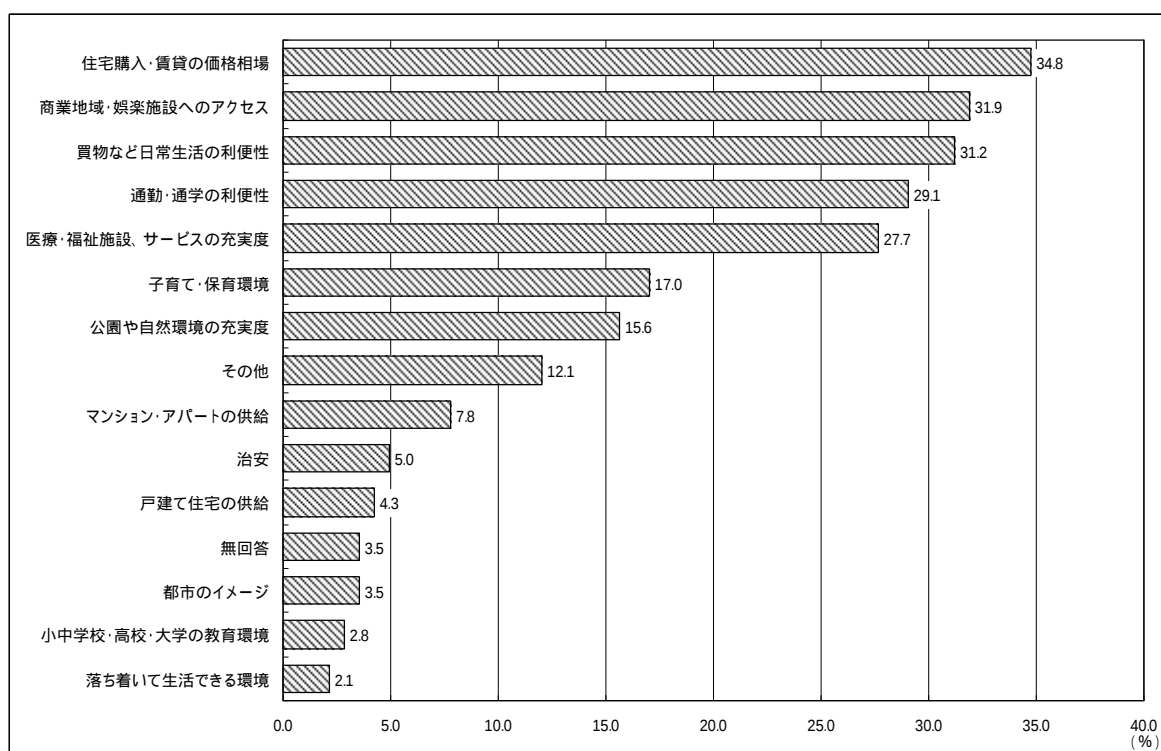


表 2 - 2 - 6 転入前の市区町村と比べ、国立市の方がよくない点
(網掛けは回答比率の第 1 位 ~ 3 位)

			合計	通勤・通 学の利 便性	戸建て 住宅の 供給	マンショ ン・ア パートの 供給	住宅購 入・賃貸 の価格 相場	都市の イメージ	治安	落ち着 いて生 活できる 環境	買物な ど日常 生活の 利便性	商業地 域・娯 楽施設へ のアクセ ス	医療・福 祉施設・サ ービスの充 実度	子育て・ 保育園 環境	小中学 校・高校・大学 の教育 環境	公園や 自然環境 の充実度	その他	無回答
全体		実数(件)	322	41	6	11	49	5	7	3	44	45	39	24	4	22	17	5
		比率(%)	-	29.1	4.3	7.8	34.8	3.5	5.0	2.1	31.2	31.9	27.7	17.0	2.8	15.6	12.1	3.5
性別	男性	実数(件)	140	21	3	9	20	4	2	1	18	24	17	11	-	7	2	1
		比率(%)	-	36.8	5.3	15.8	35.1	7.0	3.5	1.8	31.6	42.1	29.8	19.3	-	12.3	3.5	1.8
	女性	実数(件)	182	20	3	2	29	1	5	2	26	21	22	13	4	15	15	4
		比率(%)	-	23.8	3.6	2.4	34.5	1.2	6.0	2.4	31.0	25.0	26.2	15.5	4.8	17.9	17.9	4.8
年代	20歳代	実数(件)	80	7	2	6	13	2	4	1	13	15	4	2	-	5	5	1
		比率(%)	-	19.4	5.6	16.7	36.1	5.6	11.1	2.8	36.1	41.7	11.1	5.6	-	13.9	13.9	2.8
	30歳代	実数(件)	157	23	1	4	27	2	3	1	19	18	20	16	2	10	9	2
		比率(%)	-	34.3	1.5	6.0	40.3	3.0	4.5	1.5	28.4	26.9	29.9	23.9	3.0	14.9	13.4	3.0
	40歳代	実数(件)	85	11	3	1	9	1	-	1	12	12	15	6	2	7	3	2
		比率(%)	-	28.9	7.9	2.6	23.7	2.6	-	2.6	31.6	31.6	39.5	15.8	5.3	18.4	7.9	5.3
家族 構成	単身世帯	実数(件)	78	3	1	4	13	2	3	1	15	13	7	1	-	7	7	1
		比率(%)	-	7.9	2.6	10.5	34.2	5.3	7.9	2.6	39.5	34.2	18.4	2.6	-	18.4	18.4	2.6
	夫婦のみ世帯	実数(件)	49	10	2	3	10	1	-	-	5	6	7	-	-	1	1	3
		比率(%)	-	43.5	8.7	13.0	43.5	4.3	-	-	21.7	26.1	30.4	-	-	4.3	4.3	13.0
	親子2世代	実数(件)	166	24	2	4	23	2	2	1	22	20	23	18	4	13	8	-
		比率(%)	-	35.3	2.9	5.9	33.8	2.9	2.9	1.5	32.4	29.4	33.8	26.5	5.9	19.1	11.8	-
居住 年数	1年未満	実数(件)	87	11	3	4	9	1	3	-	18	15	6	5	-	3	6	3
		比率(%)	-	26.8	7.3	9.8	22.0	2.4	7.3	-	43.9	36.6	14.6	12.2	-	7.3	14.6	7.3
	1年以上3年未満	実数(件)	114	17	-	4	21	2	2	2	16	17	12	8	2	6	4	1
		比率(%)	-	35.4	-	8.3	43.8	4.2	4.2	4.2	33.3	35.4	25.0	16.7	4.2	12.5	8.3	2.1
	3年以上	実数(件)	119	13	3	3	19	2	2	1	10	13	21	11	2	13	6	-
		比率(%)	-	26.0	6.0	6.0	38.0	4.0	4.0	2.0	20.0	26.0	42.0	22.0	4.0	26.0	12.0	-

- 3 子育て環境について、転入前の市区町村と比べ、国立市の方がよい点

- 「習い事や塾の充実度」や「公立小中が学力レベル」が上位 1・2 位を占める -

○全体では、「習い事や塾の充実度」が 35.4%で最も多く、「公立小中学校の学力レベル」と「子育て世帯の交流」がいずれも 33.8%でこれに次いでおり、「文教都市くにたち」の対外イメージが反映された結果となっています。【図 2 - 2 - 14、表 2 - 2 - 7】

図 2 - 2 - 14 子育て環境について、転入前の市区町村と比べ、国立市の方がよい点

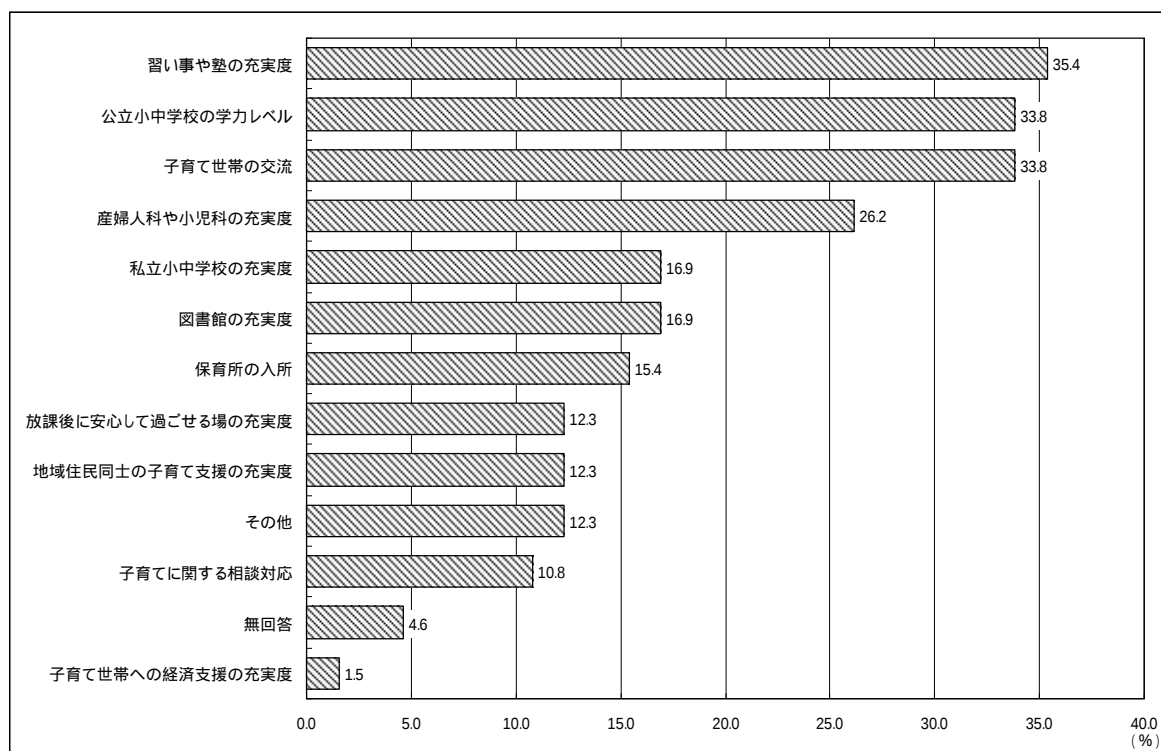


表 2 - 2 - 7 子育て環境について、転入前の市区町村と比べ、国立市の方がよい点
(網掛けは回答比率の第 1 位 ~ 3 位、回答数 1 件を除く)

			合計	子育て世帯の交流	保育所の入所	産婦人科や小児科の充実度	子育てに関する相談対応	習い事や塾の充実度	公立小・中学校の学力レベル	子育て世帯への経済支援の充実度	地域住民同士の子育て支援の充実度	放課後に安心して過ごせる場の充実度	図書館の充実度	私立小・中学校の充実度	その他	無回答
全体		実数(件)	151	22	10	17	7	23	22	1	8	8	11	11	8	3
		比率(%)	-	33.8	15.4	26.2	10.8	35.4	33.8	1.5	12.3	12.3	16.9	16.9	12.3	4.6
性別	男性	実数(件)	64	11	2	10	4	7	10	-	4	3	4	3	5	1
		比率(%)	-	42.3	7.7	38.5	15.4	26.9	38.5	-	15.4	11.5	15.4	11.5	19.2	3.8
	女性	実数(件)	87	11	8	7	3	16	12	1	4	5	7	8	3	2
		比率(%)	-	28.2	20.5	17.9	7.7	41.0	30.8	2.6	10.3	12.8	17.9	20.5	7.7	5.1
年代	20歳代	実数(件)	6	1	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		比率(%)	-	25.0	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0
	30歳代	実数(件)	97	17	6	11	4	13	12	1	5	5	10	6	5	2
		比率(%)	-	42.5	15.0	27.5	10.0	32.5	30.0	2.5	12.5	12.5	25.0	15.0	12.5	5.0
	40歳代	実数(件)	48	4	3	4	2	10	10	-	3	3	1	5	3	-
		比率(%)	-	19.0	14.3	19.0	9.5	47.6	47.6	-	14.3	14.3	4.8	23.8	14.3	-
家族構成	夫婦のみ世帯	実数(件)	4	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1
		比率(%)	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3
	親子2世代	実数(件)	130	19	8	14	6	20	18	1	7	7	11	10	7	2
		比率(%)	-	35.2	14.8	25.9	11.1	37.0	33.3	1.9	13.0	13.0	20.4	18.5	13.0	3.7
子どもの就学段階	就学前	実数(件)	122	21	7	16	7	16	17	1	7	6	10	7	4	3
		比率(%)	-	40.4	13.5	30.8	13.5	30.8	32.7	1.9	13.5	11.5	19.2	13.5	7.7	5.8
	小学生	実数(件)	50	3	4	3	-	12	10	-	2	3	2	4	7	-
		比率(%)	-	13.6	18.2	13.6	-	54.5	45.5	-	9.1	13.6	9.1	18.2	31.8	-
	中学生	実数(件)	7	-	-	-	-	1	2	-	1	1	-	1	1	-
		比率(%)	-	-	-	-	-	25.0	50.0	-	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-
居住年数	1年未満	実数(件)	33	2	1	6	2	5	6	-	1	2	1	5	2	-
		比率(%)	-	14.3	7.1	42.9	14.3	35.7	42.9	-	7.1	14.3	7.1	35.7	14.3	-
	1年以上3年未満	実数(件)	51	8	3	5	2	7	6	1	4	1	7	3	3	1
		比率(%)	-	38.1	14.3	23.8	9.5	33.3	28.6	4.8	19.0	4.8	33.3	14.3	14.3	4.8
	3年以上	実数(件)	67	12	6	6	3	11	10	-	3	5	3	3	3	2
		比率(%)	-	40.0	20.0	20.0	10.0	36.7	33.3	-	10.0	16.7	10.0	10.0	10.0	6.7

- 4 子育て環境について、転入前の市区町村と比べ、国立市の方がよくない点

- 「子育て世帯への経済支援の充実度」を指摘する回答が最も多い -

- 全体では、「子育て世帯への経済支援の充実度」が 38.5%で最も多く、次いで「産婦人科や小児科の充実度」の 33.8%、「保育所の入所」と「図書館の充実度」の 29.2%の順となっています。属性別にみると、「図書館の充実度」を指摘する回答が比較的に目立ちます。【図 2 - 2 - 15、表 2 - 2 - 8】

図 2 - 2 - 15 子育て環境について、転入前の市区町村と比べ、国立市の方がよくない点

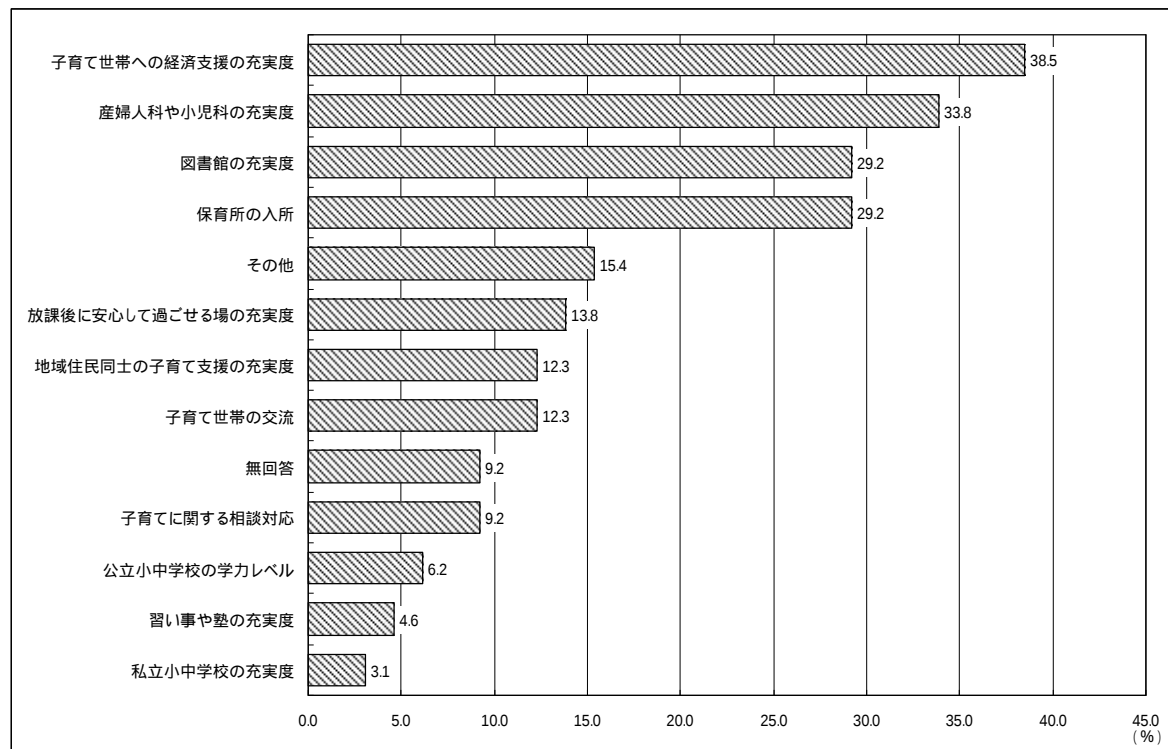


表 2 - 2 - 8 子育て環境について、転入前の市区町村と比べ、国立市の方がよくない点
(網掛けは回答比率の第1位～3位、回答数1件を除く)

		合計	子育て世帯の交流	保育所の入所	産婦人科や小児科の充実度	子育てに関する相談対応	習い事や塾の充実度	公立小中学校の学力レベル	子育て世帯への経済支援の充実度	地域住民同士の子育て支援の充実度	放課後に安心して過ごせる場の充実度	図書館の充実度	私立小中学校の充実度	その他	無回答
全体	実数(件)	141	8	19	22	6	3	4	25	8	9	19	2	10	6
	比率(%)	-	12.3	29.2	33.8	9.2	4.6	6.2	38.5	12.3	13.8	29.2	3.1	15.4	9.2
性別	男性	55	3	8	7	1	2	2	11	1	3	8	2	4	3
	比率(%)	-	11.5	30.8	26.9	3.8	7.7	7.7	42.3	3.8	11.5	30.8	7.7	15.4	11.5
	女性	86	5	11	15	5	1	2	14	7	6	11	-	6	3
	比率(%)	-	12.8	28.2	38.5	12.8	2.6	5.1	35.9	17.9	15.4	28.2	-	15.4	7.7
年代	20歳代	5	-	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	2	-
	比率(%)	-	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-	50.0	-
	30歳代	89	4	13	15	6	2	3	14	4	6	10	2	6	4
	比率(%)	-	10.0	32.5	37.5	15.0	5.0	7.5	35.0	10.0	15.0	25.0	5.0	15.0	10.0
	40歳代	47	4	5	7	-	1	1	10	4	3	8	-	2	2
	比率(%)	-	19.0	23.8	33.3	-	4.8	4.8	47.6	19.0	14.3	38.1	-	9.5	9.5
家族構成	夫婦のみ世帯	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-
	比率(%)	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	66.7	-
	親子2世代	117	6	16	19	6	3	4	19	7	6	16	2	8	5
	比率(%)	-	11.1	29.6	35.2	11.1	5.6	7.4	35.2	13.0	11.1	29.6	3.7	14.8	9.3
子どもの就学段階	就学前	113	6	19	16	5	2	2	22	6	7	14	2	8	4
	比率(%)	-	11.5	36.5	30.8	9.6	3.8	3.8	42.3	11.5	13.5	26.9	3.8	15.4	7.7
	小学生	52	3	3	9	1	2	3	8	4	5	8	1	3	2
	比率(%)	-	13.6	13.6	40.9	4.5	9.1	13.6	36.4	18.2	22.7	36.4	4.5	13.6	9.1
	中学生	6	-	-	2	-	-	-	1	-	-	1	-	1	1
	比率(%)	-	-	-	50.0	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-	25.0	25.0
居住年数	1年未満	27	2	6	1	1	1	-	5	1	1	4	1	2	2
	比率(%)	-	14.3	42.9	7.1	7.1	7.1	-	35.7	7.1	7.1	28.6	7.1	14.3	14.3
	1年以上3年未満	48	4	5	9	2	-	2	9	4	4	5	1	2	1
	比率(%)	-	19.0	23.8	42.9	9.5	-	9.5	42.9	19.0	19.0	23.8	4.8	9.5	4.8
	3年以上	66	2	8	12	3	2	2	11	3	4	10	-	6	3
	比率(%)	-	6.7	26.7	40.0	10.0	6.7	6.7	36.7	10.0	13.3	33.3	-	20.0	10.0

国立市への定住意向

- 20 歳代と単身世帯は、仕事上の都合を理由に「いずれ引っ越したい」が最も多い -

○全体では、「これからも国立市に住み続けたい」が 43.3%で、「いずれ引っ越したい」の 24.8%を大きく上回っています。属性別にみると、20 歳代と単身世帯では、自身や家族の仕事上の都合（就職・転勤・転職・退職など）を理由に、「いずれ引っ越したい」が最も多くなっています。【図 2 - 2 - 16、表 2 - 2 - 9・10】

図 2 - 2 - 16 国立市への定住意向

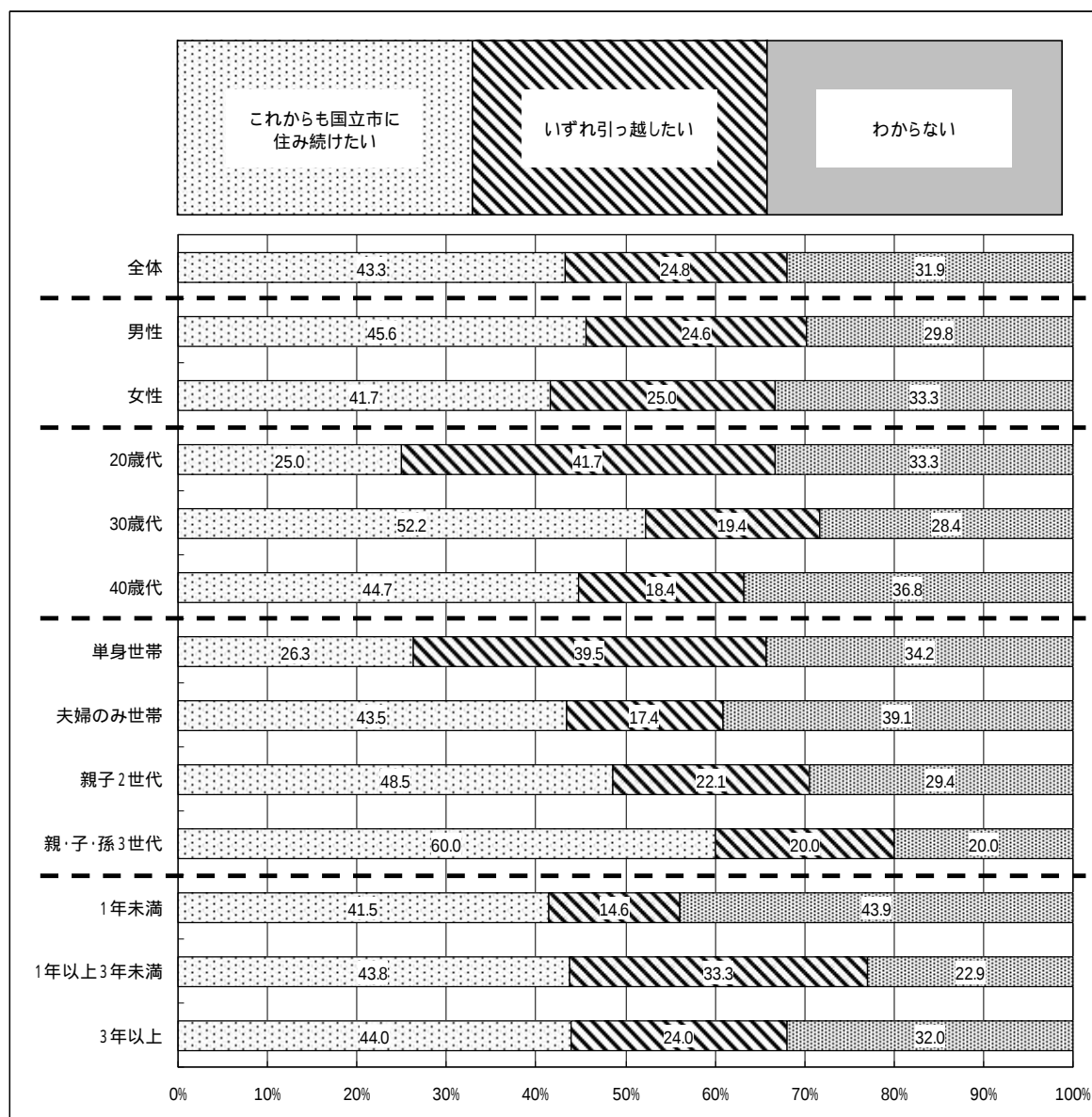


表 2 - 2 - 9 国立市への定住意向
(網掛けは回答比率の第 1 位)

			合計	これからも 国立市に 住み続け たい	いずれ 引っ越した い	わからない
全体		実数(件)	141	61	35	45
		比率(%)	100.0	43.3	24.8	31.9
性別	男性	実数(件)	57	26	14	17
		比率(%)	100.0	45.6	24.6	29.8
	女性	実数(件)	84	35	21	28
		比率(%)	100.0	41.7	25.0	33.3
年代	20歳代	実数(件)	36	9	15	12
		比率(%)	100.0	25.0	41.7	33.3
	30歳代	実数(件)	67	35	13	19
		比率(%)	100.0	52.2	19.4	28.4
	40歳代	実数(件)	38	17	7	14
		比率(%)	100.0	44.7	18.4	36.8
家族 構成	単身世帯	実数(件)	38	10	15	13
		比率(%)	100.0	26.3	39.5	34.2
	夫婦のみ世帯	実数(件)	23	10	4	9
		比率(%)	100.0	43.5	17.4	39.1
	親子2世代	実数(件)	68	33	15	20
		比率(%)	100.0	48.5	22.1	29.4
居住 年数	1年未満	実数(件)	41	17	6	18
		比率(%)	100.0	41.5	14.6	43.9
	1年以上3年未満	実数(件)	48	21	16	11
		比率(%)	100.0	43.8	33.3	22.9
	3年以上	実数(件)	50	22	12	16
		比率(%)	100.0	44.0	24.0	32.0

表 2 - 2 - 10 国立市からの引っ越しを検討する理由

			合計	住宅の購 入や借り 換えのた め	ご自身や 家族の仕 事上の都 合(就職・ 転職・転 職・退職な ど)	ご自身や 家族の学 校の都合 (進学・入 学など)	結婚のた め	出産や出 産予定の ため	入院や治 療・介護の ため	その他	無回答
全体		実数(件)	35	10	14	-	1	-	-	8	2
		比率(%)	100.0	28.6	40.0	-	2.9	-	-	22.9	5.7
性別	男性	実数(件)	14	2	6	-	-	-	-	4	2
		比率(%)	100.0	14.3	42.9	-	-	-	-	28.6	14.3
	女性	実数(件)	21	8	8	-	1	-	-	4	-
		比率(%)	100.0	38.1	38.1	-	4.8	-	-	19.0	-
年代	20歳代	実数(件)	15	3	10	-	-	-	-	1	1
		比率(%)	100.0	20.0	66.7	-	-	-	-	6.7	6.7
	30歳代	実数(件)	13	6	1	-	1	-	-	4	1
		比率(%)	100.0	46.2	7.7	-	7.7	-	-	30.8	7.7
	40歳代	実数(件)	7	1	3	-	-	-	-	3	-
		比率(%)	100.0	14.3	42.9	-	-	-	-	42.9	-
家族 構成	単身世帯	実数(件)	15	2	10	-	1	-	-	1	1
		比率(%)	100.0	13.3	66.7	-	6.7	-	-	6.7	6.7
	夫婦のみ世帯	実数(件)	4	1	1	-	-	-	-	2	-
		比率(%)	100.0	25.0	25.0	-	-	-	-	50.0	-
	親子2世代	実数(件)	15	6	3	-	-	-	-	5	1
		比率(%)	100.0	40.0	20.0	-	-	-	-	33.3	6.7
居住 年数	1年未満	実数(件)	6	2	1	-	1	-	-	2	-
		比率(%)	100.0	33.3	16.7	-	16.7	-	-	33.3	-
	1年以上3年未満	実数(件)	16	2	10	-	-	-	-	4	-
		比率(%)	100.0	12.5	62.5	-	-	-	-	25.0	-
	3年以上	実数(件)	12	5	3	-	-	-	-	2	2
		比率(%)	100.0	41.7	25.0	-	-	-	-	16.7	16.7

3 転出アンケート調査

(1) 調査の概要

調査の目的

本調査は、国立市から他の市区町村へ転出した方に対し、市外へ転出したきっかけや転出時に重視したことなどを質問し、今後、定住人口の流出抑制に向けた施策等を検討する際の基礎資料として活用することを目的としています。

調査の方法

表 3 - 1 - 1 調査の方法

調査方法	アンケート調査票の配布・回収ともに郵送
調査対象	平成 27 (2015) 年 6 月 15 日時点で 20 歳以上 49 歳以下で、かつ過去 5 年以内に国立市から他の市区町村へ転出した男女 500 人
調査期間	平成 27 (2015) 年 7 月 21 日～ 8 月 7 日

回収の状況

表 3 - 1 - 2 有効回収数

配布数 (件)	有効回収数 (件)	有効回収率 (%)
500	127	25.4

調査の項目

表 3 - 1 - 3 調査の項目

大項目	具体的な質問項目
1 基本属性	1) 性別
	2) 年齢 (転出時、以下 3) ~ 8) まで同様)
	3) 職業及び通勤・通学先
	4) 家族構成
	5) 子どもの有無及び就学段階
	6) 以前の住まいの地域
	7) 国立市での居住年数
	8) 世帯の収入
2 以前と現在の住まい	9) 転出後の居住地
	10) 転出前後の住まいの形態
	11) 国立市に在住時の最寄り駅及び徒歩による自宅までの所要時間、通勤・通学先と自宅までの所要時間 (転出前後)
3 国立市からの転出理由等	12) 国立市に住んだきっかけ、市外へ転出したきっかけ
	13) 転出先として国立市の検討の有無、国立市以外に転出先として検討とした市区町村
	14) 国立市から転出する際、住まいを決める上で重視した点
3 国立市のよい点・よくない点	15) 転出先の市区町村と比べ、国立市の方がよい点・よくない点
	16) 子育て環境について、転出先の市区町村と比べ、国立市の方がよい点・よくない点 (Q5 で「中学生以下の子どもがいる」と回答した方を対象)
4 国立市への移住意向	17) 今後の国立市への移住意向 「住みたい」、「条件が合えば住みたい」と回答した方を対象に、国立市に再び住みたい理由

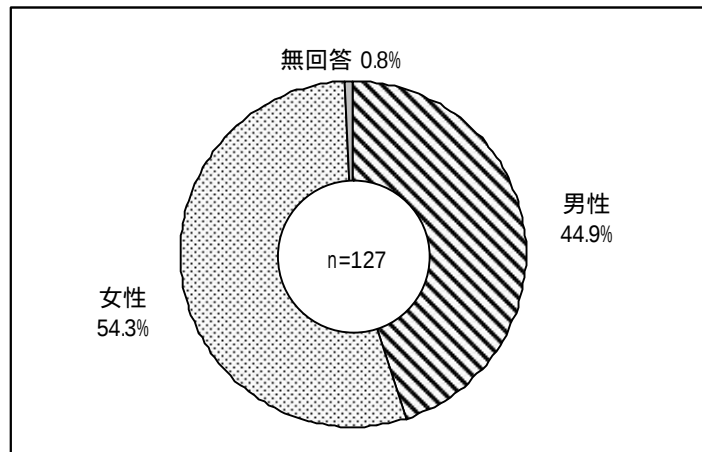
(2) 調査の結果 (一部抜粋)

基本属性

- 1 性別

- 「女性」が 54.3% (69 件) で過半を超えており、「男性」は 44.9% (57 件) となっています。【図 3 - 2 - 1】

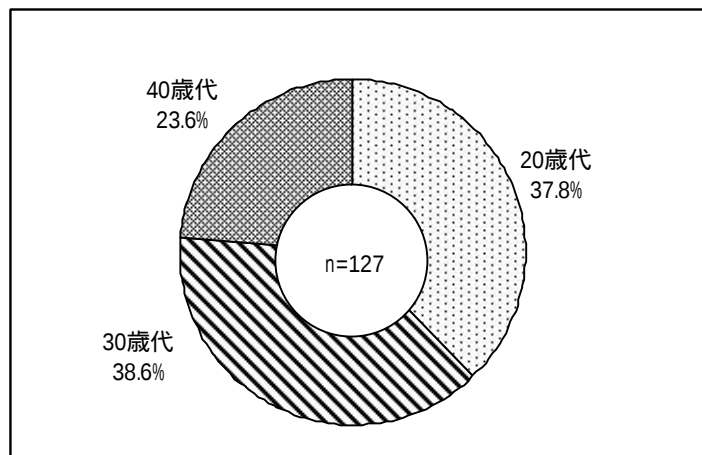
図 3 - 2 - 1 性別



- 2 転出時の年齢

- 「30 歳代」が 38.6% (49 件) で最も多く、次いで「20 歳代」の 37.8% (48 件)、「40 歳代」の 23.6% (30 件) の順となっています。【図 3 - 2 - 2】

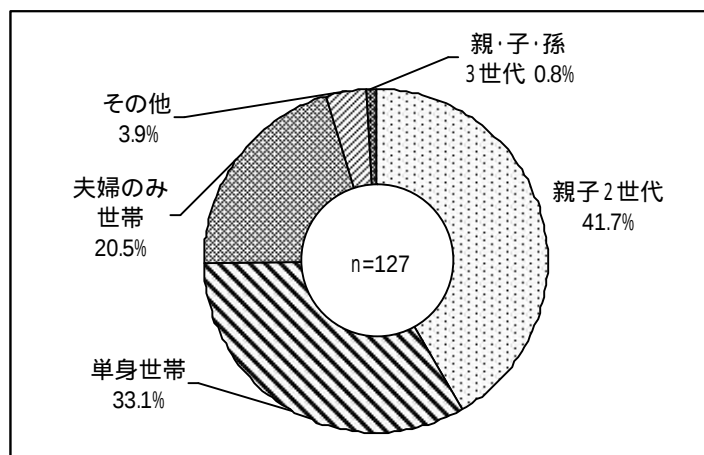
図 3 - 2 - 2 年齢



- 3 転出時の家族構成

- 「親子2世代」が41.7%（53件）で最も多く、次いで「単身世帯」の33.1%（42件）、「夫婦のみ世帯」の20.5%（26件）の順となっています。【図3-2-3】

図3-2-3 家族構成



- 4 転出時の子どもの有無及び就学段階

- 「子どもはいない」が65.4%（83件）で突出しており、「1人」及び「2人」が15.7%（20件）でこれに次いでいます。【図3-2-4】
- 子どもの就学段階では、「就学前」が63.8%（30件）で突出しており、小学生が21.3%（10件）でこれに次いでいます。【図3-2-5】

図3-2-4 子どもの有無

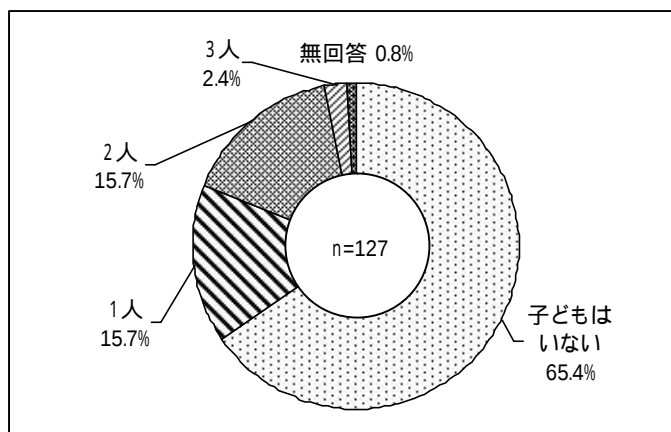
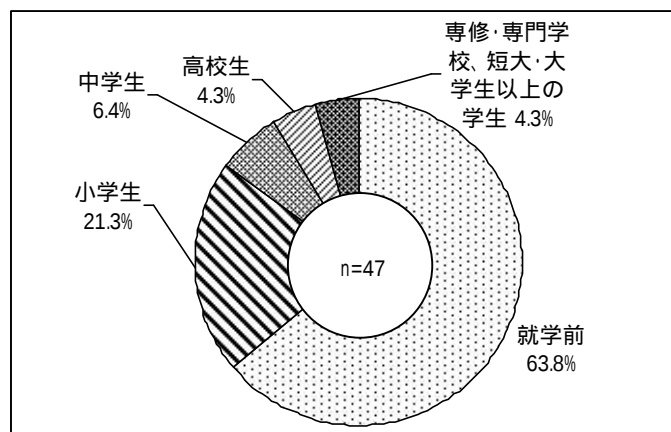


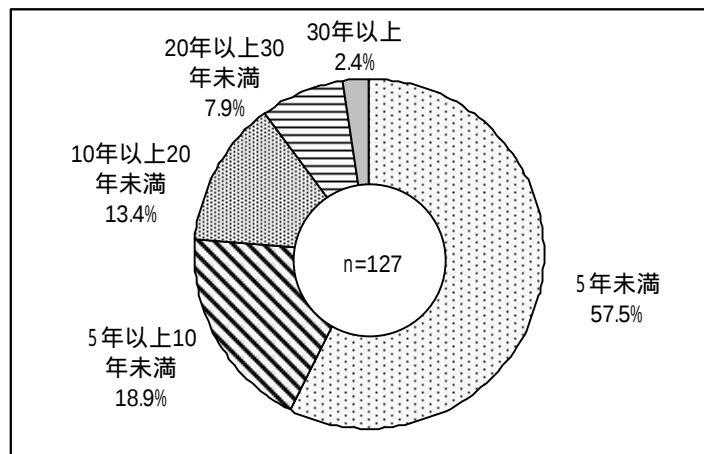
図3-2-5 子どもの就学段階



- 5 転出するまでに国立市に居住した年数

- 「5年未満」が57.5%（73件）で最も多く、次いで「5年以上10年未満」の18.9%（24件）、「10年以上20年未満」の13.4%（17件）の順であり、これらを合計した「20年未満」が全体の89.8%を占めています。【図3-2-6】

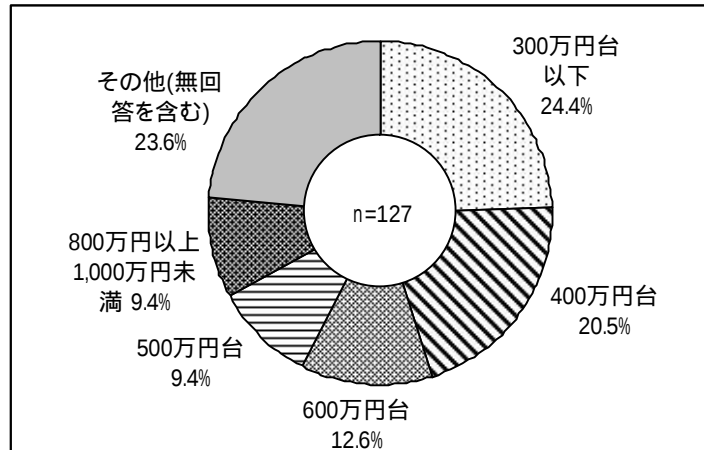
図3-2-6 国立市での居住年数



- 6 転出時の世帯の収入

- 「300万円台以下」が24.4%（31件）で最も多く、次いで「400万円台」の20.5%（26件）、「600万円台」の12.6%（16件）の順となっています。【図3-2-7】

図3-2-7 世帯の収入



国立市から転出理由等

- 1 国立市に住んだきっかけ

- 全体では「仕事上の都合」が 34.6%で突出 -

- 全体では「仕事上の都合」が 34.6%で突出しており、次いで「結婚」の 17.3%、「住宅の都合」の 11.8%の順となっています。属性別にみると、概ねいずれも「仕事上の都合」が最も多くなっていますが、20 歳代、単身世帯及び 5 年未満といった市内在住時は学生であったと考えられる転出者では、「学校上の都合」の回答比率が高くなっています。【図 3 - 2 - 8、表 3 - 2 - 1】

図 3 - 2 - 8 国立市に住んだきっかけ

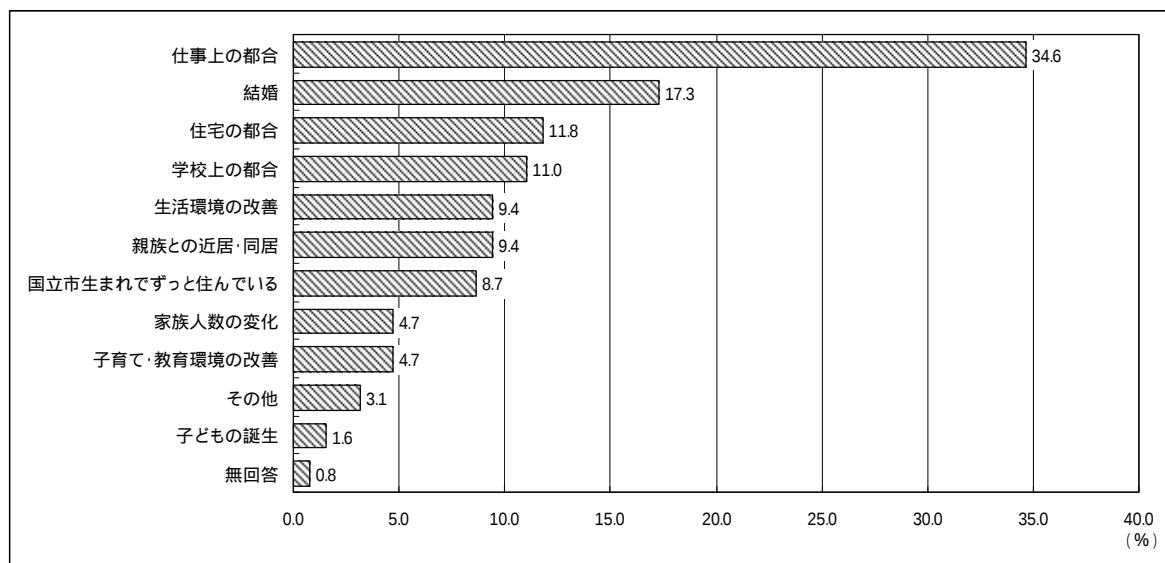


表 3 - 2 - 1 国立市に住んだきっかけ
(網掛けは回答比率の第 1 位 ~ 3 位)

		合計	仕事上の都合 (就職・転職・退職など)	学校上の都合 (進学・転校など)	結婚	子どもの誕生	子育て・教育環境の改善	親族との近居・同居 (親・兄弟姉妹との近居・同居など)	家族人数の変化 (家族の独立・離婚・死別など)	生活環境の改善 (交通・買い物の利便性・治安・医療・介護環境など)	住宅の都合 (持家の購入・相続・賃貸住宅の借り換えなど)	国立市生まれですと住んでいる	その他	無回答
全体	実数 (件)	149	44	14	22	2	6	12	6	12	15	11	4	1
	比率 (%)	-	34.6	11.0	17.3	1.6	4.7	9.4	4.7	9.4	11.8	8.7	3.1	0.8
性別	男性	66	20	5	8	1	2	7	3	4	7	6	2	1
	比率 (%)	116	35.1	8.8	14.0	1.8	3.5	12.3	5.3	7.0	12.3	10.5	3.5	1.8
	女性	82	24	9	13	1	4	5	3	8	8	5	2	-
	比率 (%)	-	34.8	13.0	18.8	1.4	5.8	7.2	4.3	11.6	11.6	7.2	3	-
年代	20歳代	54	16	11	5	1	1	3	4	1	4	7	1	-
	比率 (%)	-	33.3	22.9	10.4	2.1	2.1	6.3	8.3	2.1	8.3	14.6	2.1	-
	30歳代	60	17	1	15	1	2	7	-	6	7	3	1	-
	比率 (%)	-	34.7	2.0	30.6	2.0	4.1	14.3	-	12.2	14.3	6.1	2.0	-
	40歳代	35	11	2	2	-	3	2	2	5	4	1	2	1
	比率 (%)	-	36.7	6.7	6.7	-	10.0	6.7	6.7	16.7	13.3	3.3	6.7	3.3
家族構成	単身世帯	45	18	10	-	-	1	2	3	4	2	4	1	-
	比率 (%)	-	42.9	23.8	-	-	2.4	4.8	7.1	9.5	4.8	9.5	2.4	-
	夫婦のみ世帯	31	7	1	13	-	-	3	2	1	3	1	-	-
	比率 (%)	-	26.9	3.8	50.0	-	-	11.5	7.7	3.8	11.5	3.8	-	-
	親子2世代	66	17	2	9	2	5	5	1	7	8	6	3	1
	比率 (%)	-	32.1	3.8	17.0	3.8	9.4	9.4	1.9	13.2	15.1	11.3	5.7	1.9
居住年数	5年未満	88	28	12	19	-	3	3	3	8	9	-	2	1
	比率 (%)	-	38.4	16.4	26.0	-	4.1	4.1	4.1	11.0	12.3	-	2.7	1.4
	5年以上10年未満	27	9	1	3	1	2	3	3	1	3	-	1	-
	比率 (%)	-	37.5	4.2	12.5	4.2	8.3	12.5	12.5	4.2	12.5	-	4.2	-
	10年以上	34	7	1	-	1	1	6	-	3	3	11	1	-
	比率 (%)	-	23.3	3.3	-	3.3	3.3	20.0	-	10.0	10.0	36.7	3.3	-

- 2 国立市から転出したきっかけ

- 30 歳代及び夫婦のみ世帯では、「結婚」をきっかけに転出した人が多い -

- 全体では「仕事上の都合」が 34.6%で突出しており、次いで「結婚」の 17.3%、「住宅の都合」の 11.8%の順となっています。属性別にみると、概ねいずれも「仕事上の都合」が回答比率の第 1 位となっていますが、30 歳代と夫婦のみ世帯では、「結婚」の回答比率が高くなっているのが特徴的といえます。【図 3 - 2 - 9、表 3 - 2 - 2】

図 3 - 2 - 9 国立市から転出したきっかけ

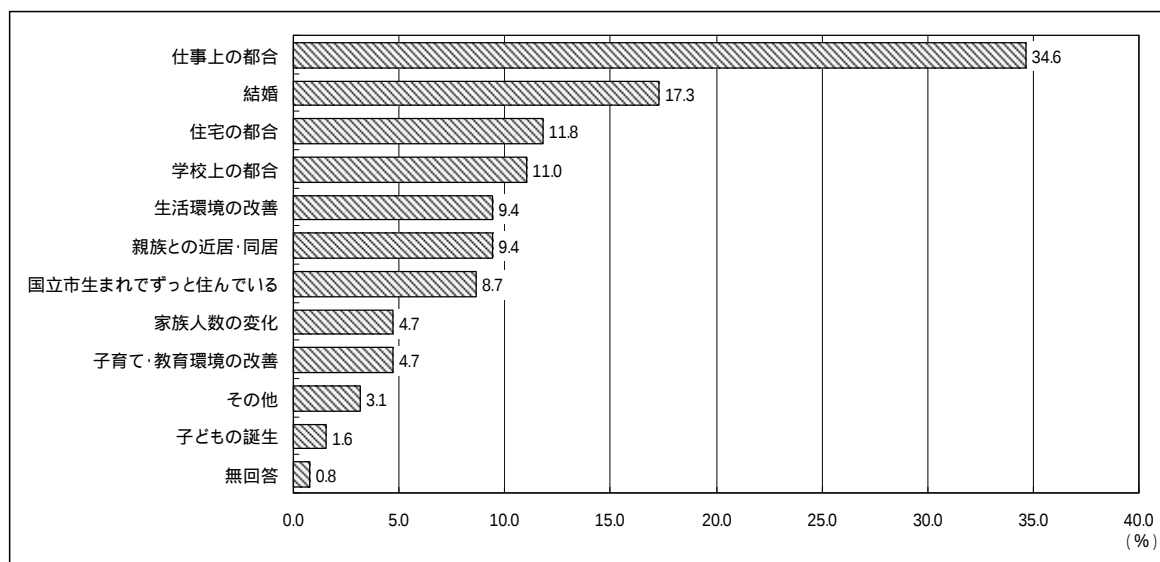


表 3 - 2 - 2 国立市から転出したきっかけ
(網掛けは回答比率の第 1 位)

		合計	仕事上の都合 (就職・転職・退職など)	学校上の都合 (進学・転校など)	結婚	子どもの誕生	子育て・教育環境の改善	親族との近居・同居 (親・兄弟姉妹との近居・同居など)	家族人数の変化 (家族の独立・離婚・死別など)	生活環境の改善 (交通・買い物の利便性、治安、医療・介護環境など)	住宅の都合 (持家の購入・相続、賃貸住宅の借り換えなど)	国立市生まれでずっと住んでいる	その他	無回答
全体	実数 (件)	149	44	14	22	2	6	12	6	12	15	11	4	1
	比率 (%)	-	34.6	11.0	17.3	1.6	4.7	9.4	4.7	9.4	11.8	8.7	3.1	0.8
性別	男性	66	20	5	8	1	2	7	3	4	7	6	2	1
	比率 (%)	11.6	35.1	8.8	14.0	1.8	3.5	12.3	5.3	7.0	12.3	10.5	3.5	1.8
	女性	82	24	9	13	1	4	5	3	8	8	5	2	-
	比率 (%)	-	34.8	13.0	18.8	1.4	5.8	7.2	4.3	11.6	11.6	7.2	3	-
年代	20歳代	54	16	11	5	1	1	3	4	1	4	7	1	-
	比率 (%)	-	33.3	22.9	10.4	2.1	2.1	6.3	8.3	2.1	8.3	14.6	2.1	-
	30歳代	60	17	1	15	1	2	7	-	6	7	3	1	-
	比率 (%)	-	34.7	2.0	30.6	2.0	4.1	14.3	-	12.2	14.3	6.1	2.0	-
家族構成	40歳代	35	11	2	2	-	3	2	2	5	4	1	2	1
	比率 (%)	-	36.7	6.7	6.7	-	10.0	6.7	6.7	16.7	13.3	3.3	6.7	3.3
	単身世帯	45	18	10	-	-	1	2	3	4	2	4	1	-
	比率 (%)	-	42.9	23.8	-	-	2.4	4.8	7.1	9.5	4.8	9.5	2.4	-
	夫婦のみ世帯	31	7	1	13	-	-	3	2	1	3	1	-	-
	比率 (%)	-	26.9	3.8	50.0	-	-	11.5	7.7	3.8	11.5	3.8	-	-
	親子2世代	66	17	2	9	2	5	5	1	7	8	6	3	1
	比率 (%)	-	32.1	3.8	17.0	3.8	9.4	9.4	1.9	13.2	15.1	11.3	5.7	1.9
居住年数	5年未満	88	28	12	19	-	3	3	3	8	9	-	2	1
	比率 (%)	-	38.4	16.4	26.0	-	4.1	4.1	4.1	11.0	12.3	-	2.7	1.4
	5年以上10年未満	27	9	1	3	1	2	3	3	1	3	-	1	-
	比率 (%)	-	37.5	4.2	12.5	4.2	8.3	12.5	12.5	4.2	12.5	-	4.2	-
	10年以上	34	7	1	-	1	1	6	-	3	3	11	1	-
	比率 (%)	-	23.3	3.3	-	3.3	3.3	20.0	-	10.0	10.0	36.7	3.3	-

- 3 転出先として国立市の検討の有無

- 30・40 歳代では「国立市も検討した上で、他の市区町村に決めた」が最も多い -

- 全体では「最初から他市区町村に決めていたため、国立市は検討しなかった」が 34.6% で最も多く、「国立市も検討した上で、他の市区町村に決めた」が 33.9% でこれに次いでいます。属性別にみると、30 歳代及び 40 歳代では、「国立市も検討した上で、他の市区町村に決めた」が最も多く、これらの年代では持ち家の取得等に伴い、市外へ転出している傾向が伺えます。

【図 3 - 2 - 10、表 3 - 2 - 3】

図 3 - 2 - 10 転出先として国立市の検討の有無

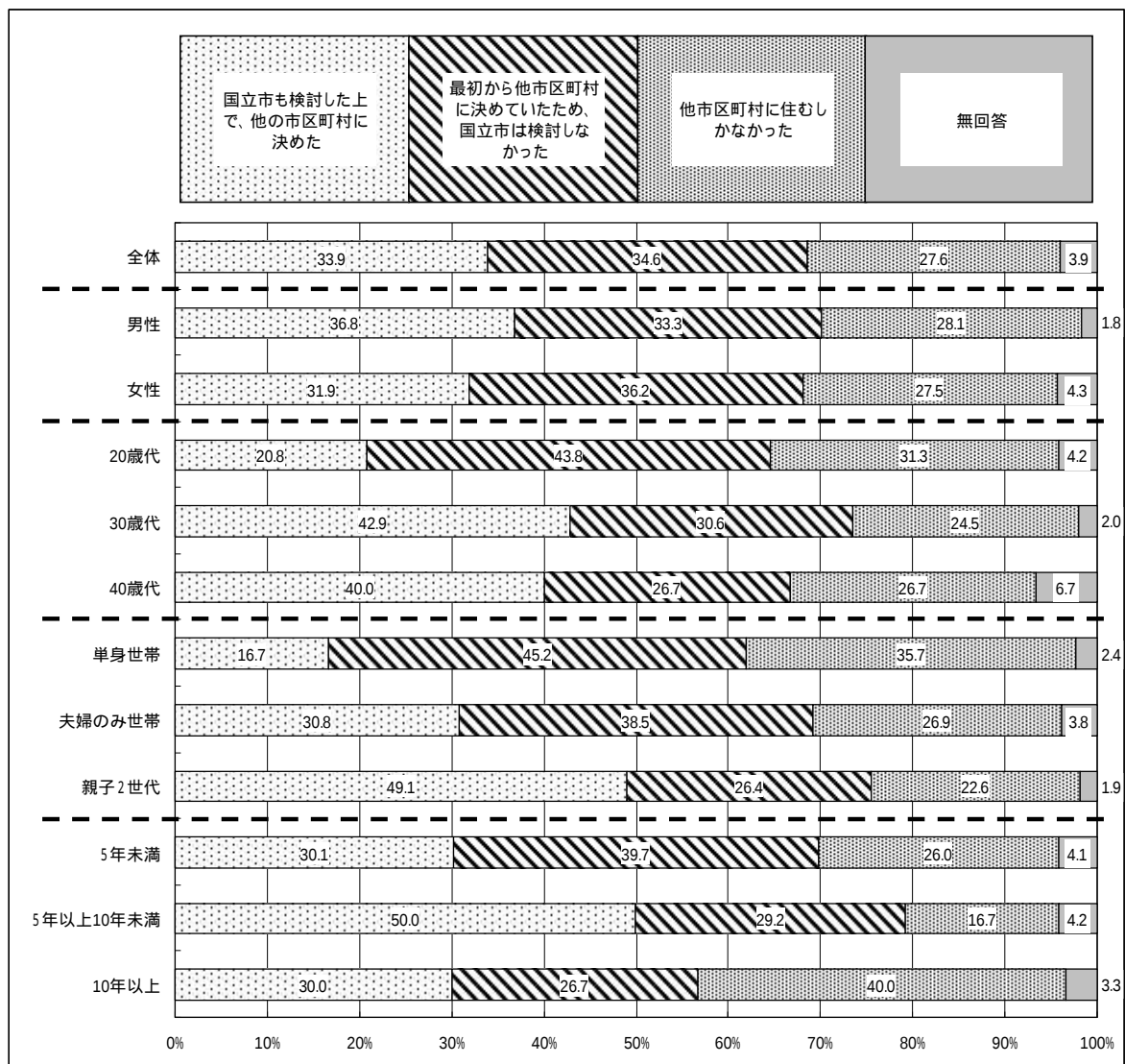


表 3 - 2 - 3 転出先として国立市の検討の有無
(網掛けは回答比率の第 1 位)

			合計	国立市も検討した上で、他の市区町村に決めた	最初から他市区町村に決めていたため、国立市は検討しなかった	他市区町村に住むしかなかった(実家に戻った、住宅が他市区町村にあるなど)	無回答
全体	実数(件)		127	43	44	35	5
	比率(%)		100.0	33.9	34.6	27.6	3.9
性別	男性	実数(件)	57	21	19	16	1
		比率(%)	100.0	36.8	33.3	28.1	1.8
	女性	実数(件)	69	22	25	19	3
		比率(%)	100.0	31.9	36.2	27.5	4.3
年代	20歳代	実数(件)	48	10	21	15	2
		比率(%)	100.0	20.8	43.8	31.3	4.2
	30歳代	実数(件)	49	21	15	12	1
		比率(%)	100.0	42.9	30.6	24.5	2.0
	40歳代	実数(件)	30	12	8	8	2
		比率(%)	100.0	40.0	26.7	26.7	6.7
家族構成	単身世帯	実数(件)	42	7	19	15	1
		比率(%)	100.0	16.7	45.2	35.7	2.4
	夫婦のみ世帯	実数(件)	26	8	10	7	1
		比率(%)	100.0	30.8	38.5	26.9	3.8
	親子2世代	実数(件)	53	26	14	12	1
		比率(%)	100.0	49.1	26.4	22.6	1.9
居住年数	5年未満	実数(件)	73	22	29	19	3
		比率(%)	100.0	30.1	39.7	26.0	4.1
	5年以上10年未満	実数(件)	24	12	7	4	1
		比率(%)	100.0	50.0	29.2	16.7	4.2
	10年以上	実数(件)	30	9	8	12	1
		比率(%)	100.0	30.0	26.7	40.0	3.3

- 4 国立市以外に転出先として検討対象とした市区町村

- 本市と市域を接する立川市や国分寺市を対象としたとする回答比率が突出 -

- 全体では「その他」を除くと、「立川市」が 25.3%で最も多く、以下、「国分寺市」の 24.1%、「府中市」の 19.5%、「杉並区」と「日野市」の 14.9%の順であり、本市と市域を接する 3 市が上位第 1 位～ 3 位を占めているのが特徴的といえます。【図 3 - 2 - 11、表 3 - 2 - 4】

図 3 - 2 - 11 国立市以外に転出先として検討した市区町村

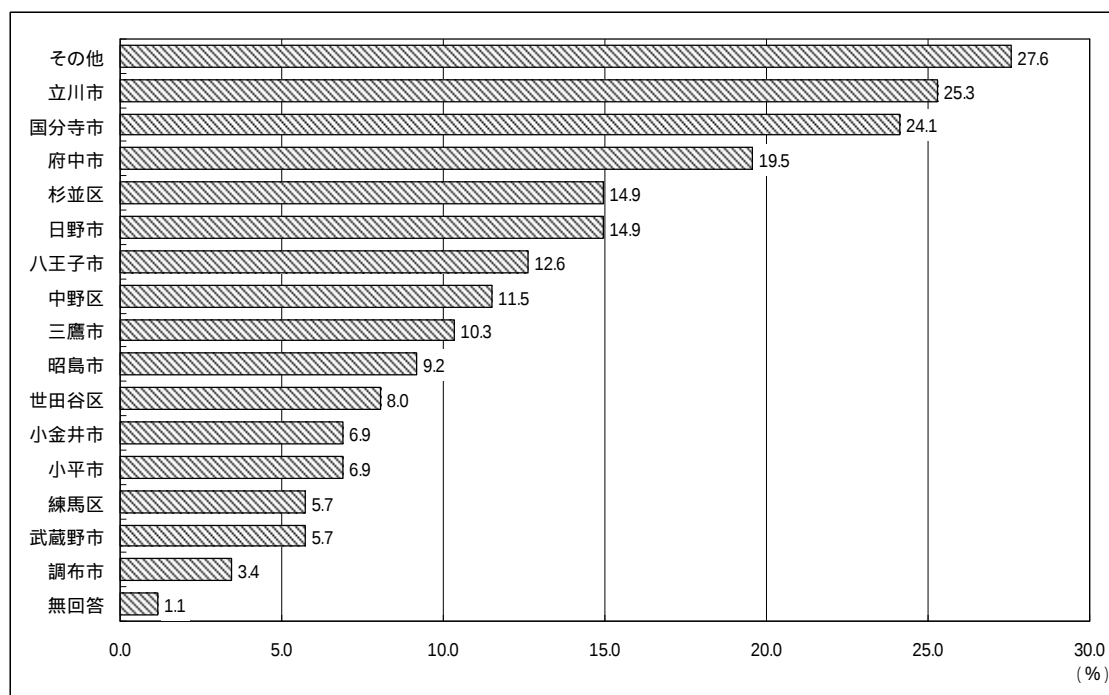


表3 - 2 - 4 国立市以外に以外に転出先として検討した市区町村
(網掛けは回答比率の第1位～3位)

		合計																		
		立川市	国分寺市	府中市	八王子市	日野市	昭島市	小平市	三鷹市	小金井市	調布市	武蔵野市	杉並区	中野区	世田谷区	練馬区	その他	無回答		
全体	実数(件)	181	22	21	17	11	13	8	6	9	6	3	5	13	10	7	5	24	1	
	比率(%)	-	25.3	24.1	19.5	12.6	14.9	9.2	6.9	10.3	6.9	3.4	5.7	14.9	11.5	8.0	5.7	27.6	1.1	
性別	男性	実数(件)	85	13	11	5	4	8	6	4	5	2	2	3	4	2	3	9	-	
	比率(%)	-	32.5	27.5	12.5	10.0	20.0	15.0	10.0	12.5	5.0	5.0	7.5	10.0	10.0	5.0	7.5	22.5	-	
	女性	実数(件)	96	9	10	12	7	5	2	2	4	1	2	9	6	5	2	15	1	
	比率(%)	-	19.1	21.3	25.5	14.9	10.6	4.3	4.3	8.5	8.5	2.1	4.3	19.1	12.8	10.6	4.3	31.9	2.1	
年代	20歳代	実数(件)	60	5	5	6	6	2	1	-	3	1	1	5	6	1	2	15	-	
		比率(%)	-	16.1	16.1	19.4	19.4	6.5	3.2	-	9.7	3.2	3.2	3.2	16.1	19.4	3.2	6.5	48.4	-
	30歳代	実数(件)	79	12	11	5	3	7	6	3	5	4	1	2	5	2	3	2	7	1
		比率(%)	-	33.3	30.6	13.9	8.3	19.4	16.7	8.3	13.9	11.1	2.8	5.6	13.9	5.6	8.3	5.6	19.4	2.8
	40歳代	実数(件)	42	5	5	6	2	4	1	3	1	1	2	3	2	3	1	2	-	
		比率(%)	-	25.0	25.0	30.0	10.0	20.0	5.0	15.0	5.0	5.0	10.0	15.0	10.0	15.0	5.0	10.0	-	
家族構成	単身世帯	実数(件)	49	5	3	2	2	3	2	2	3	-	-	1	5	6	1	3	11	-
		比率(%)	-	19.2	11.5	7.7	7.7	11.5	7.7	7.7	11.5	-	-	3.8	19.2	23.1	3.8	11.5	42.3	-
	夫婦のみ世帯	実数(件)	36	2	4	3	3	5	2	-	4	-	2	2	2	2	2	1	1	1
		比率(%)	-	11.1	22.2	16.7	16.7	27.8	11.1	-	22.2	-	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6
	親子2世代	実数(件)	91	13	13	11	6	5	4	4	2	6	1	2	6	2	4	1	11	-
		比率(%)	-	32.5	32.5	27.5	15.0	12.5	10.0	10.0	5.0	15.0	2.5	5.0	15.0	5.0	10.0	2.5	27.5	-
居住年数	5年未満	実数(件)	107	11	11	9	8	9	4	4	7	4	2	2	8	9	3	4	11	1
		比率(%)	-	21.6	21.6	17.6	15.7	17.6	7.8	7.8	13.7	7.8	3.9	3.9	15.7	17.6	5.9	7.8	21.6	2.0
	5年以上10年未満	実数(件)	37	6	3	4	2	2	2	1	1	2	-	2	2	-	4	-	6	-
		比率(%)	-	31.6	15.8	21.1	10.5	10.5	10.5	5.3	5.3	10.5	-	10.5	10.5	-	21.1	-	31.6	-
	10年以上	実数(件)	37	5	7	4	1	2	2	1	1	-	1	1	3	1	-	1	7	-
		比率(%)	-	29.4	41.2	23.5	5.9	11.8	11.8	5.9	5.9	-	5.9	5.9	17.6	5.9	-	5.9	41.2	-

- 5 国立市から転出する際、住まいを決める上で重視した点

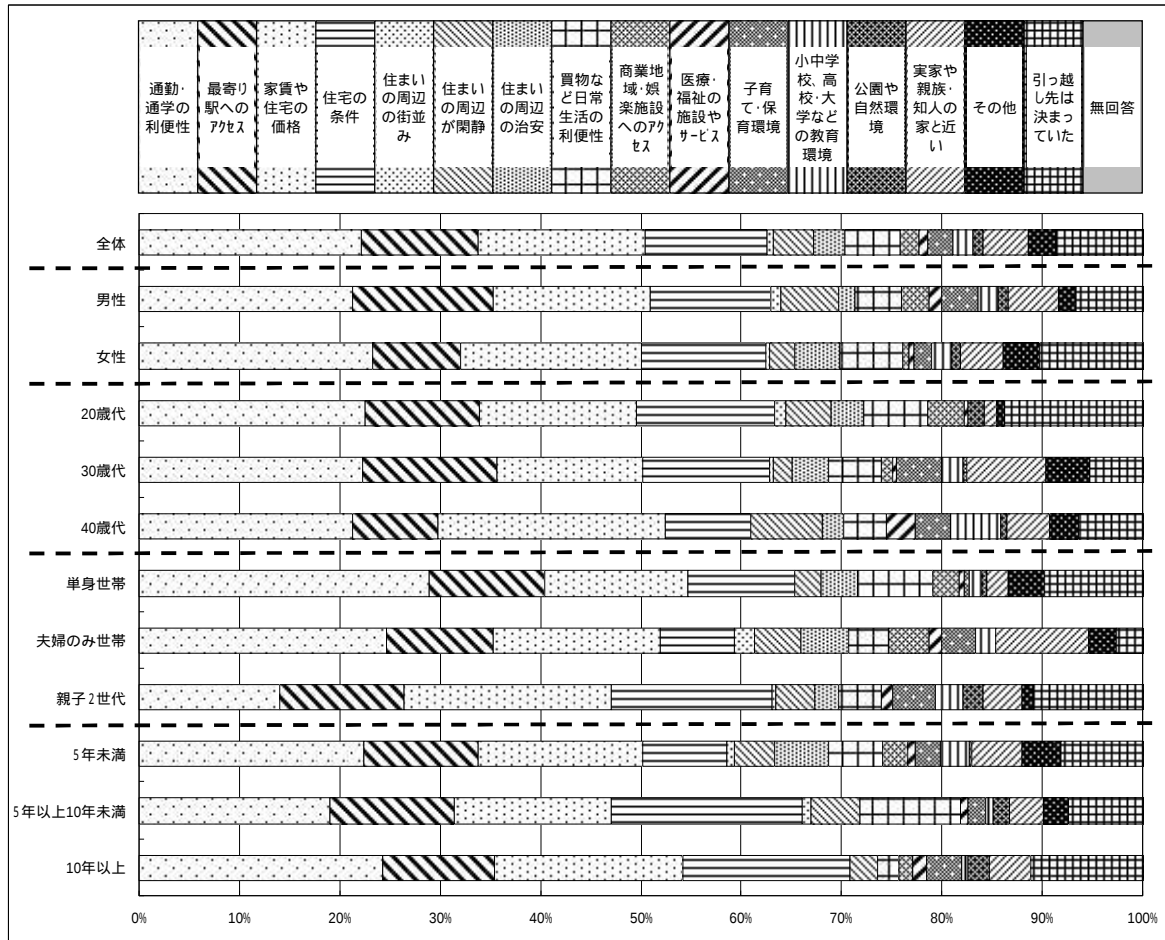
- 国立市内への転入者と同様に、「通勤・通学の利便性の高さ」
「住宅の条件のよさ」、「家賃や住宅の価格」を重視 -

- 重視した最大のポイントを3点、第二のポイントを2点、第三のポイントを1点として、点数化した結果、全体では「通勤・通学の利便性が高い」が22.2%で最も多く、次いで「家賃や住宅の価格が手ごろである」の16.7%、「住宅の条件(広さ、設備、日当たりなど)がよい」の12.2%の順であり、転入者が国立市内に住まいを決める上で重視した点と同様の傾向となっています。【表3 - 2 - 5、図3 - 2 - 12】
- 属性別にみると、40歳代と親子2世代では、「家賃や住宅の価格が手ごろである」が20%を超えているのが比較的に目立ちます。【同上】

表3 - 2 - 5 国立市から転出する際、住まいを決める上で重視した点
(網掛けは点数の第1位～3位)

		合計	通勤・通学の利便性が高い	最寄り駅へのアクセスがよい	家賃や住宅の価格が手ごろである	住宅の条件(広さ、設備、日当たりなど)がよい	住まいの周辺の街並みがきれいである	住まいの周辺が閑静である	住まいの周辺の治安が良い	買物など日常生活の利便性が高い	商業地域・娯楽施設へのアクセスがよい	医療・福祉施設の施設やサービスが充実している	子育て・保育環境が充実している	小・中学校、高校、大学などの教育環境が充実している	公園や自然環境が充実している	実家や親族、知人の家に近い	その他	引っ越し先は決まっていた(実家、社宅など)	
全体		実数(件)	658	146	76	110	80	4	26	21	36	12	6	17	13	6	30	18	57
		比率(%)	100.0	22.2	11.6	16.7	12.2	0.6	4.0	3.2	5.5	1.8	0.9	2.6	2.0	0.9	4.6	2.7	8.7
性別	男性	実数(件)	300	64	42	47	36	3	17	5	14	8	4	11	6	3	15	5	20
		比率(%)	100.0	21.3	14.0	15.7	12.0	1.0	5.7	1.7	4.7	2.7	1.3	3.7	2.0	1.0	5.0	1.7	6.7
	女性	実数(件)	352	82	31	63	44	1	9	16	22	2	2	6	7	3	15	13	36
		比率(%)	100.0	23.3	8.8	17.9	12.5	0.3	2.6	4.5	6.3	0.6	0.6	1.7	2.0	0.9	4.3	3.7	10.2
年代	20歳代	実数(件)	248	56	28	39	34	3	11	8	16	9	1	-	-	4	3	2	34
		比率(%)	100.0	22.6	11.3	15.7	13.7	1.2	4.4	3.2	6.5	3.6	0.4	-	-	1.6	1.2	0.8	13.7
	30歳代	実数(件)	269	60	36	39	34	1	5	10	14	3	1	12	6	1	21	12	14
		比率(%)	100.0	22.3	13.4	14.5	12.6	0.4	1.9	3.7	5.2	1.1	0.4	4.5	2.2	0.4	7.8	4.5	5.2
	40歳代	実数(件)	141	30	12	32	12	-	10	3	6	-	4	5	7	1	6	4	9
		比率(%)	100.0	21.3	8.5	22.7	8.5	-	7.1	2.1	4.3	-	2.8	3.5	5.0	0.7	4.3	2.8	6.4
家族構成	単身世帯	実数(件)	225	65	26	32	24	-	6	8	17	6	1	1	3	1	5	8	22
		比率(%)	100.0	28.9	11.6	14.2	10.7	-	2.7	3.6	7.6	2.7	0.4	0.4	1.3	0.4	2.2	3.6	9.8
	夫婦のみ世帯	実数(件)	150	37	16	25	11	3	7	7	6	6	2	5	3	-	14	4	4
		比率(%)	100.0	24.7	10.7	16.7	7.3	2.0	4.7	4.7	4.0	4.0	1.3	3.3	2.0	-	9.3	2.7	2.7
	親子2世代	実数(件)	257	36	32	53	41	1	10	6	11	-	3	11	7	5	10	3	28
		比率(%)	100.0	14.0	12.5	20.6	16.0	0.4	3.9	2.3	4.3	-	1.2	4.3	2.7	1.9	3.9	1.2	10.9
居住年数	5年未満	実数(件)	393	88	45	64	33	3	16	21	21	10	3	10	11	1	20	15	32
		比率(%)	100.0	22.4	11.5	16.3	8.4	0.8	4.1	5.3	5.3	2.5	0.8	2.5	2.8	0.3	5.1	3.8	8.1
	5年以上10年未満	実数(件)	121	23	15	19	23	1	6	-	12	-	1	2	1	2	4	3	9
		比率(%)	100.0	19.0	12.4	15.7	19.0	0.8	5.0	-	9.9	-	0.8	1.7	0.8	1.7	3.3	2.5	7.4
	10年以上	実数(件)	144	35	16	27	24	-	4	-	3	2	2	5	1	3	6	-	16
		比率(%)	100.0	24.3	11.1	18.8	16.7	-	2.8	-	2.1	1.4	1.4	3.5	0.7	2.1	4.2	-	11.1

図3 - 2 - 12 国立市から転出する際、住まいを決める上で重視した点（点数の比率）



国立市のよい点・よくない点

- 1 転出先の市区町村と比べ、国立市の方がよい点

- 国立市内への転入者と同様に、優れた都市景観やゆとりと

潤いのある良好な住環境を高く評価 -

- 全体では、「落ち着いて生活できる環境」が62.2%で最も多く、次いで「都市のイメージ」の54.3%、「治安」の41.7%の順であり、国立市への転入者と同様に、国立らしさを醸し出している優れた都市景観や、ゆとりと潤いのある良好な住環境が高い評価を得ています。【図3-2-13、表3-2-6】

図3-2-13 転出先の市区町村と比べ、国立市の方がよい点

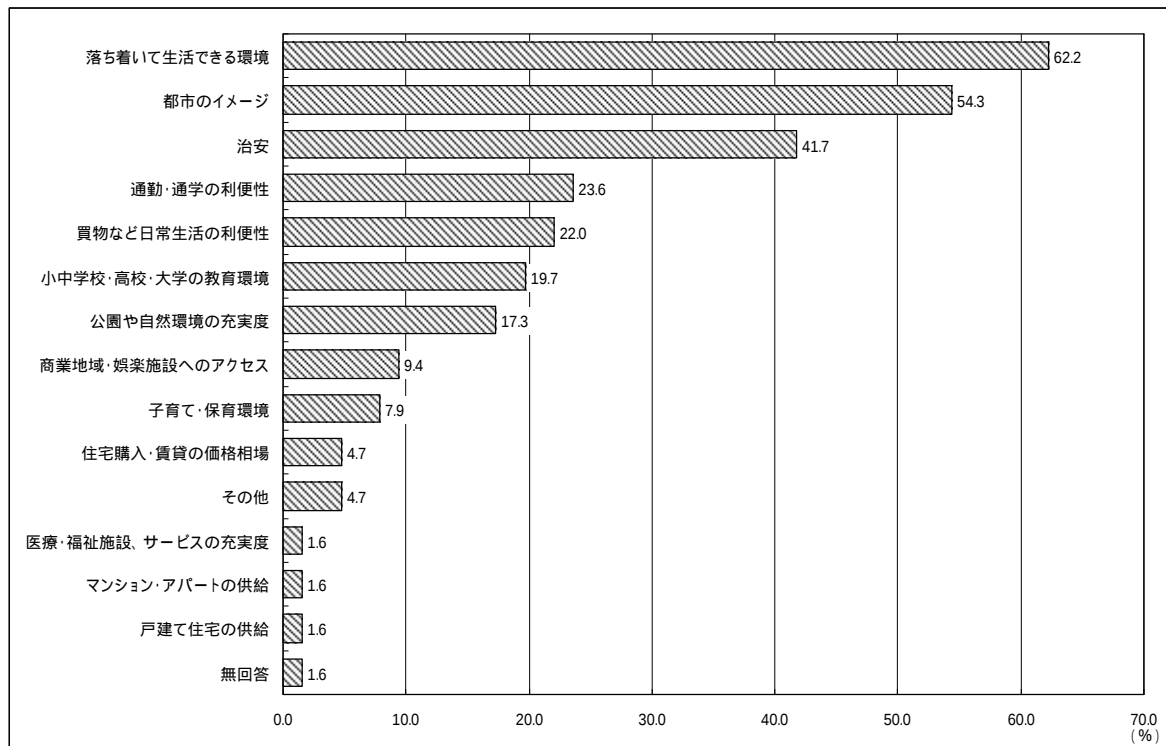


表3-2-6 転出先の市区町村と比べ、国立市の方がよい点
(網掛けは回答比率の第1位～3位)

		合計	通勤・通学の利便性	戸建て住宅の供給	マンション・アパートの供給	住宅購入・賃貸の価格相場	都市のイメージ	治安	落ち着いて生活できる環境	買物など日常生活の利便性	商業地域・娯楽施設へのアクセス	医療・福祉施設・サービスの充実度	子育て・保育環境	小中学校・高校・大学の教育環境	公園や自然環境の充実度	その他	無回答
全体	実数(件)	348	30	2	2	6	69	53	79	28	12	2	10	25	22	6	2
	比率(%)	-	23.6	1.6	1.6	4.7	54.3	41.7	62.2	22.0	9.4	1.6	7.9	19.7	17.3	4.7	1.6
性別	男性	155	13	2	2	2	33	23	37	12	2	1	2	11	12	2	1
	比率(%)	-	22.8	3.5	3.5	3.5	57.9	40.4	64.9	21.1	3.5	1.8	3.5	19.3	21.1	3.5	1.8
	女性	190	17	-	-	4	35	30	41	16	10	1	8	13	10	4	1
	比率(%)	-	24.6	-	-	5.8	50.7	43.5	59.4	23.2	14.5	1.4	11.6	18.8	14.5	5.8	1.4
年代	20歳代	137	15	1	1	4	24	27	34	8	7	-	1	6	7	1	1
	比率(%)	-	31.3	2.1	2.1	8.3	50.0	56.3	70.8	16.7	14.6	-	2.1	12.5	14.6	2.1	2.1
	30歳代	129	11	-	1	1	27	17	29	13	3	2	5	10	7	3	-
	比率(%)	-	22.4	-	2.0	2.0	55.1	34.7	59.2	26.5	6.1	4.1	10.2	20.4	14.3	6.1	-
	40歳代	82	4	1	-	1	18	9	16	7	2	-	4	9	8	2	1
	比率(%)	-	13.3	3.3	-	3.3	60.0	30.0	53.3	23.3	6.7	-	13.3	30.0	26.7	6.7	3.3
家族構成	単身世帯	119	10	-	1	4	25	23	29	5	6	1	-	6	8	1	-
	比率(%)	-	23.8	-	2.4	9.5	59.5	54.8	69.0	11.9	14.3	2.4	-	14.3	19.0	2.4	-
	夫婦のみ世帯	69	5	-	1	1	15	10	17	8	4	-	-	6	1	1	-
	比率(%)	-	19.2	-	3.8	3.8	57.7	38.5	65.4	30.8	15.4	-	-	23.1	3.8	3.8	-
	親子2世代	143	13	2	-	1	26	17	28	12	2	1	10	13	12	4	2
	比率(%)	-	24.5	3.8	-	1.9	49.1	32.1	52.8	22.6	3.8	1.9	18.9	24.5	22.6	7.5	3.8
居住年数	5年未満	195	13	1	2	4	38	32	43	15	9	-	6	11	14	6	1
	比率(%)	-	17.8	1.4	2.7	5.5	52.1	43.8	58.9	20.5	12.3	-	8.2	15.1	19.2	8.2	1.4
	5年以上10年未満	69	10	-	-	1	13	8	14	5	3	1	3	7	4	-	-
	比率(%)	-	41.7	-	-	4.2	54.2	33.3	58.3	20.8	12.5	4.2	12.5	29.2	16.7	-	-
	10年以上	84	7	1	-	1	18	13	22	8	-	1	1	7	4	-	1
	比率(%)	-	23.3	3.3	-	3.3	60.0	43.3	73.3	26.7	-	3.3	3.3	23.3	13.3	-	3.3

- 2 転出先の市区町村と比べ、国立市の方がよくない点

- 全体及び属性別のいずれも「住宅購入・賃貸の価格相場」が回答比率の第1位 -

- 全体では、「住宅購入・賃貸の価格相場」が53.5%で突出しており、次いで「通勤・通学の利便性」の32.3%、「商業地域・娯楽施設へのアクセス」の29.1%の順となっています。属性別にみても、「住宅購入・賃貸の価格相場」はいずれも回答比率の第1位となっています。

【図3-2-14、表3-2-7】

図3-2-14 転出先の市区町村と比べ、国立市の方がよくない点

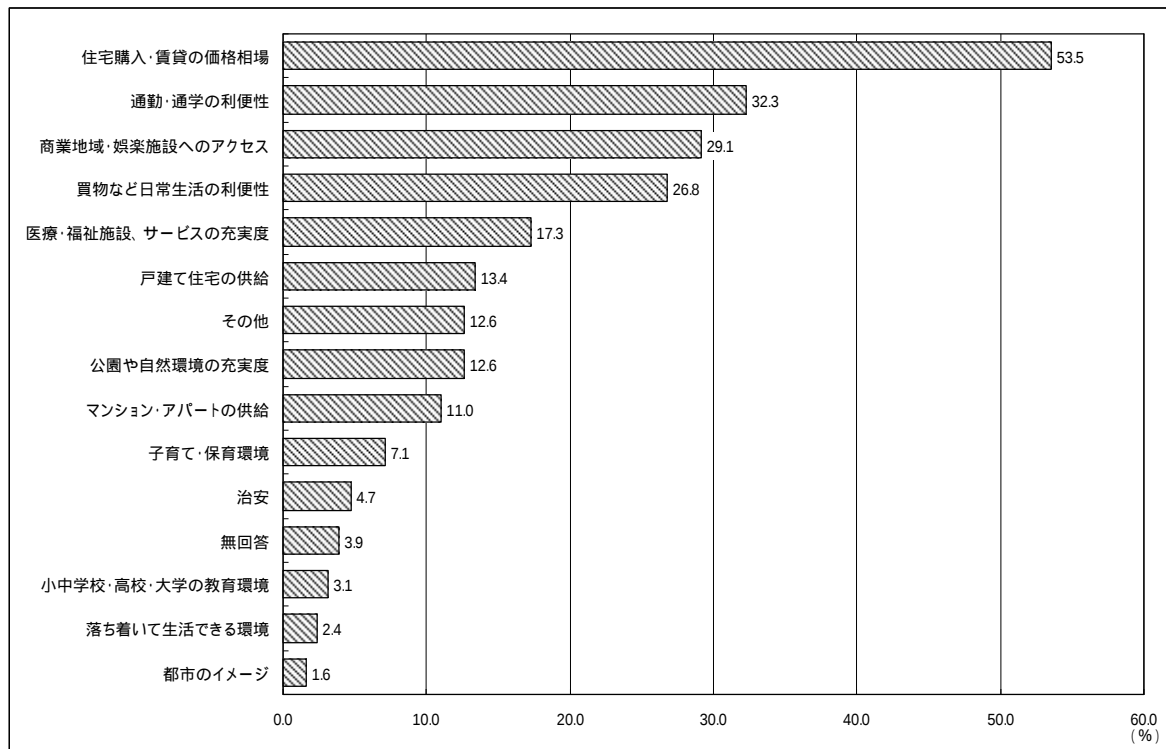


表3-2-7 転出先の市区町村と比べ、国立市の方がよくない点
(網掛けは回答比率の第1位～3位)

		合計	通勤・通学の利便性	戸建て住宅の供給	マンション・アパートの供給	住宅購入・賃貸の価格相場	都市のイメージ	治安	落ち着いて生活できる環境	買物など日常生活の利便性	商業地域・娯楽施設へのアクセス	医療・福祉施設サービスの充実度	子育て・保育環境	小中学校・高校・大学の教育環境	公園や自然環境の充実度	その他	無回答
全体	実数(件)	294	41	17	14	68	2	6	3	34	37	22	9	4	16	16	5
	比率(%)	-	32.3	13.4	11.0	53.5	1.6	4.7	2.4	26.8	29.1	17.3	7.1	3.1	12.6	12.6	3.9
性別	男性	139	18	8	7	34	2	1	1	13	24	11	1	3	9	6	1
	比率(%)	-	31.6	14.0	12.3	59.6	3.5	1.8	1.8	22.8	42.1	19.3	1.8	5.3	15.8	10.5	1.8
	女性	153	22	9	7	34	-	5	2	21	12	11	8	1	7	10	4
	比率(%)	-	31.9	13.0	10.1	49.3	-	7.2	2.9	30.4	17.4	15.9	11.6	1.4	10.1	14.5	5.8
年代	20歳代	113	16	6	4	24	1	4	1	12	15	8	4	1	8	7	2
	比率(%)	-	33.3	12.5	8.3	50.0	2.1	8.3	2.1	25.0	31.3	16.7	8.3	2.1	16.7	14.6	4.2
	30歳代	110	15	4	5	28	1	2	2	17	12	7	4	0	6	7	-
	比率(%)	-	30.6	8.2	10.2	57.1	2.0	4.1	4.1	34.7	24.5	14.3	8.2	-	12.2	14.3	-
	40歳代	71	10	7	5	16	-	-	-	5	10	7	1	3	2	2	3
	比率(%)	-	33.3	23.3	16.7	53.3	-	-	-	16.7	33.3	23.3	3.3	10.0	6.7	6.7	10.0
家族構成	単身世帯	91	11	4	2	22	-	1	1	15	16	6	1	1	1	9	1
	比率(%)	-	26.2	9.5	4.8	52.4	-	2.4	2.4	35.7	38.1	14.3	2.4	2.4	2.4	21.4	2.4
	夫婦のみ世帯	65	11	3	5	16	1	1	-	6	8	5	2	-	7	-	-
	比率(%)	-	42.3	11.5	19.2	61.5	3.8	3.8	-	23.1	30.8	19.2	7.7	-	26.9	-	-
	親子2世代	128	19	8	6	28	1	4	2	13	12	10	6	3	8	6	2
	比率(%)	-	35.8	15.1	11.3	52.8	1.9	7.5	3.8	24.5	22.6	18.9	11.3	5.7	15.1	11.3	3.8
居住年数	5年未満	167	23	8	10	39	-	2	3	20	20	9	3	3	12	12	3
	比率(%)	-	31.5	11.0	13.7	53.4	-	2.7	4.1	27.4	27.4	12.3	4.1	4.1	16.4	16.4	4.1
	5年以上10年未満	56	6	5	2	13	1	1	-	7	6	6	5	-	1	2	1
	比率(%)	-	25.0	20.8	8.3	54.2	4.2	4.2	-	29.2	25.0	20.8	-	-	4.2	8.3	4.2
	10年以上	71	12	4	2	16	1	3	-	7	11	7	1	1	3	2	1
	比率(%)	-	40.0	13.3	6.7	53.3	3.3	10.0	-	23.3	36.7	23.3	3.3	3.3	10.0	6.7	3.3

- 3 子育て環境について、転出先の市区町村と比べ、国立市の方がよい点

- 「子育て世帯の交流」はいずれの属性も上位2位以内と高く評価 -

- 全体では「その他」及び「無回答」を除き、「子育て世帯の交流」が25.6%で最も多く、次いで「習い事や塾の充実度」の20.9%、「図書館の充実度」、「公立小中学校の学力レベル」及び「産婦人科や小児科の充実」の18.6%の順となっています。属性別にみても、「子育て世帯の交流」はいずれも上位2位以内となっているのが特徴的といえます。【図3-2-15、表3-2-8】

図3-2-15 子育て環境について、転出先の市区町村と比べ、国立市の方がよい点

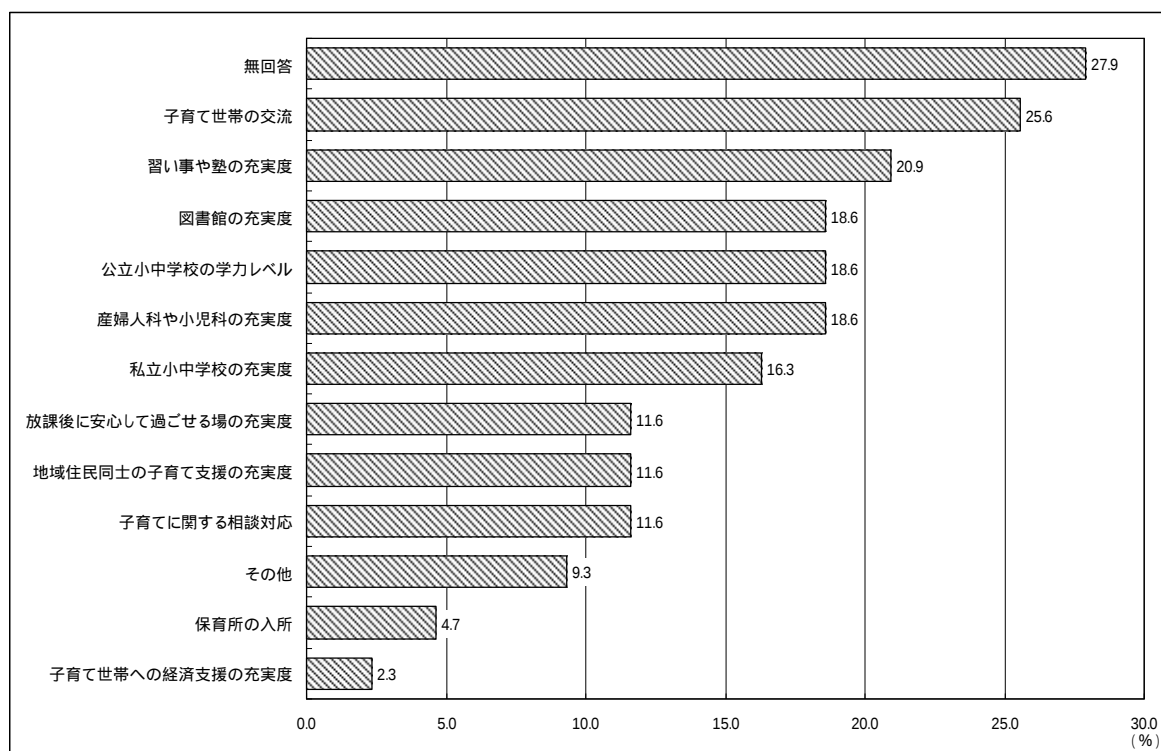


表3-2-8 子育て環境について、転出先の市区町村と比べ、国立市の方がよい点
(網掛けは回答比率の第1位～3位、回答数1件を除く)

		合計	子育て世帯の交流	保育所の入所	産婦人科や小児科の充実度	子育てに関する相談対応	習い事や塾の充実度	公立小中学校の学力レベル	子育て世帯への経済支援の充実度	地域住民同士の子育て支援の充実度	放課後に安心して過ごせる場の充実度	図書館の充実度	私立小中学校の充実度	その他	無回答
全体	実数(件)	85	11	2	8	5	9	8	1	5	5	8	7	4	12
	比率(%)	-	25.6	4.7	18.6	11.6	20.9	18.6	2.3	11.6	11.6	18.6	16.3	9.3	27.9
性別	男性	33	4	-	4	1	2	4	1	1	1	4	2	3	6
	比率(%)	-	22.2	-	22.2	5.6	11.1	22.2	5.6	5.6	5.6	22.2	11.1	16.7	33.3
	女性	51	7	2	4	4	7	4	-	4	4	4	5	1	5
	比率(%)	-	29.2	8.3	16.7	16.7	29.2	16.7	-	16.7	16.7	16.7	20.8	4.2	20.8
年代	20歳代	14	2	-	-	2	2	-	-	2	-	-	2	1	3
	比率(%)	-	28.6	-	-	28.6	28.6	-	-	28.6	-	-	28.6	14.3	42.9
	30歳代	33	4	1	4	1	4	5	-	2	1	4	3	2	2
	比率(%)	-	23.5	5.9	23.5	5.9	23.5	29.4	-	11.8	5.9	23.5	17.6	11.8	11.8
	40歳代	38	5	1	4	2	3	3	1	1	4	4	2	1	7
	比率(%)	-	26.3	5.3	21.1	10.5	15.8	15.8	5.3	5.3	21.1	21.1	10.5	5.3	36.8
家族構成	親子2世代	76	10	2	7	4	9	8	1	5	5	7	7	3	8
	比率(%)	-	27.8	5.6	19.4	11.1	25.0	22.2	2.8	13.9	13.9	19.4	19.4	8.3	22.2
子どもの就学段階	就学前	65	9	1	8	5	8	6	1	5	1	5	7	4	5
	比率(%)	-	30.0	3.3	26.7	16.7	26.7	20.0	3.3	16.7	3.3	16.7	23.3	13.3	16.7
	小学生	20	3	1	1	-	1	2	1	1	4	2	1	0	3
	比率(%)	-	30.0	10.0	10.0	-	10.0	20.0	10.0	10.0	40.0	20.0	10.0	-	30.0
居住年数	5年未満	54	5	1	6	3	5	4	1	4	2	4	5	4	10
	比率(%)	-	17.2	3.4	20.7	10.3	17.2	13.8	3.4	13.8	6.9	13.8	17.2	13.8	34.5
	5年以上10年未満	23	4	1	1	2	3	3	-	1	3	2	2	-	1
	比率(%)	-	40.0	10.0	10.0	20.0	30.0	30.0	-	10.0	30.0	20.0	20.0	-	10.0
	10年以上	8	2	-	1	-	1	1	-	-	-	2	-	-	1
	比率(%)	-	50.0	-	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	50.0	-	-	25.0

- 2 子育て環境について、転出先の市区町村と比べ、国立市の方がよくない点

- 国立市への転入者と同様に、「図書館の充実度」と

「子育て世帯への経済的支援の充実度」が上位3位以内 -

- 全体では「図書館の充実度」が25.6%で最も多く、「放課後に安心して過ごせる場の充実度」、「地域住民同士の子育て支援の充実度」及び「子育て世帯への経済支援の充実度」が20.9%で次いでおり、「図書館の充実度」と「子育て世帯への経済支援の充実度」は、国立市への転入者と同様に回答比率の上位3位以内となっています。【図3 - 2 - 16、表3 - 2 - 9】

図3 - 2 - 16 子育て環境について、転出先の市区町村と比べ、国立市の方がよくない点

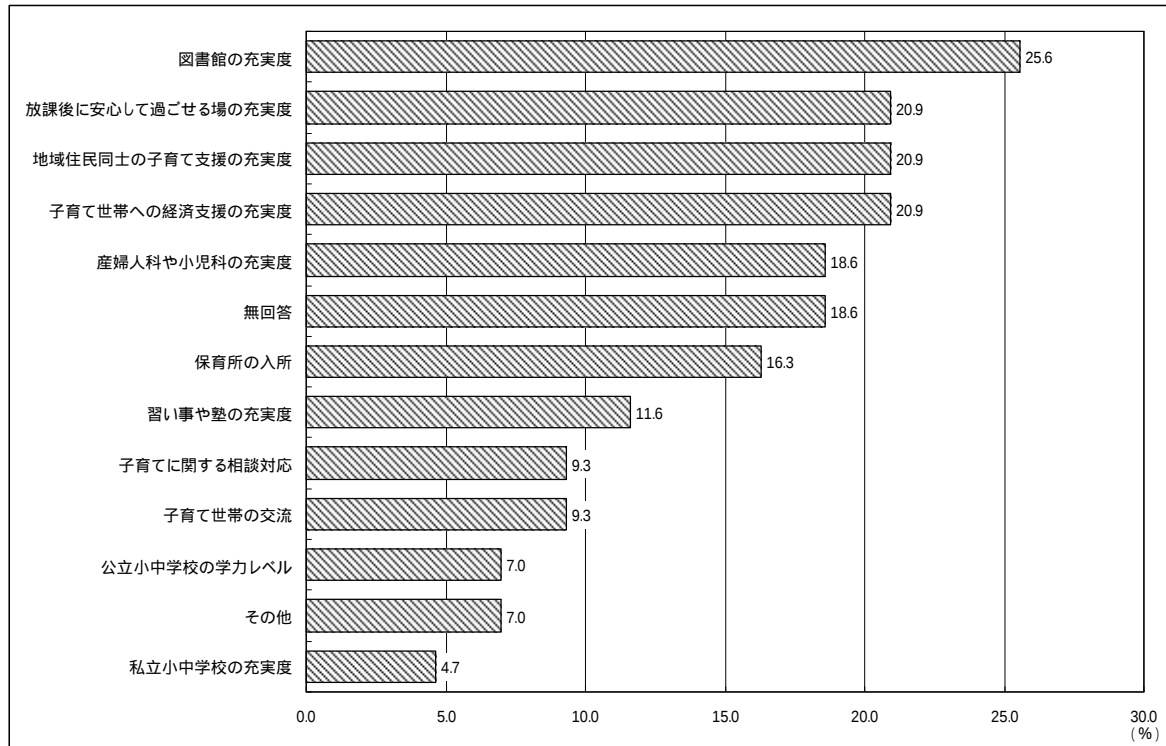


表3 - 2 - 9 子育て環境について、転出先の市区町村と比べ、国立市の方がよくない点
(網掛けは回答比率の第1位～3位、回答数1件を除く)

		合計	子育て世帯の交流	保育所の入所	産婦人科や小児科の充実度	子育てに関する相談対応	習い事や塾の充実度	公立小中学校の学力レベル	子育て世帯への経済支援の充実度	地域住民同士の子育て支援の充実度	放課後に安心して過ごせる場の充実度	図書館の充実度	私立小中学校の充実度	その他	無回答
全体	実数(件)	82	4	7	8	4	5	3	9	9	9	11	2	3	8
	比率(%)	-	9.3	16.3	18.6	9.3	11.6	7.0	20.9	20.9	20.9	25.6	4.7	7.0	18.6
性別	男性	32	3	-	1	2	4	1	3	5	2	3	1	2	5
	比率(%)	-	16.7	-	5.6	11.1	22.2	5.6	16.7	27.8	11.1	16.7	5.6	11.1	27.8
	女性	49	1	7	7	2	1	2	6	4	7	8	1	1	2
	比率(%)	-	4.2	29.2	29.2	8.3	4.2	8.3	25.0	16.7	29.2	33.3	4.2	4.2	8.3
年代	20歳代	15	1	3	2	-	-	1	-	-	4	3	-	-	1
	比率(%)	-	14.3	42.9	28.6	-	-	14.3	-	-	57.1	42.9	-	-	14.3
	30歳代	29	2	1	4	2	1	-	5	5	2	4	-	2	1
	比率(%)	-	11.8	5.9	23.5	11.8	5.9	-	29.4	29.4	11.8	23.5	-	11.8	5.9
	40歳代	38	1	3	2	2	4	2	4	4	3	4	2	1	6
	比率(%)	-	5.3	15.8	10.5	10.5	21.1	10.5	21.1	21.1	15.8	21.1	10.5	5.3	31.6
家族構成	親子2世代	72	3	7	7	4	5	3	8	8	9	10	2	2	4
	比率(%)	-	8.3	19.4	19.4	11.1	13.9	8.3	22.2	22.2	25.0	27.8	5.6	5.6	11.1
子どもの就学段階	就学前	62	4	6	6	3	3	1	9	7	7	9	2	3	2
	比率(%)	-	13.3	20.0	20.0	10.0	10.0	3.3	30.0	23.3	23.3	30.0	6.7	10.0	6.7
	小学生	19	-	-	1	1	2	2	1	3	2	4	1	-	2
	比率(%)	-	-	-	10.0	10.0	20.0	20.0	10.0	30.0	20.0	40.0	10.0	-	20.0
居住年数	5年未満	51	3	5	3	2	4	3	4	5	5	7	1	2	7
	比率(%)	-	10.3	17.2	10.3	6.9	13.8	10.3	13.8	17.2	17.2	24.1	3.4	6.9	24.1
	5年以上10年未満	22	-	2	5	1	1	-	2	2	3	4	1	1	-
	比率(%)	-	-	20.0	50.0	10.0	10.0	-	20.0	20.0	30.0	40.0	10.0	10.0	-
	10年以上	9	1	-	-	1	-	-	3	2	1	-	-	-	1
	比率(%)	-	25.0	-	-	25.0	-	-	75.0	50.0	25.0	-	-	-	25.0

国立市への移住意向

- 1 今後の国立市への移住意向

- 「住みたい」と「条件が合えば住みたい」の合計は79.6%で、
「住みたくない」の17.3%を大きく上回る -
- 全体では、「条件が合えば住みたい」が59.1%で突出しており、これと「住みたい(20.5%)」を合わせた「住みたい」が79.6%で「住みたくない」の17.3%を大きく上回っています。
属性別にみても、「住みたい」と「条件が合えば住みたい」の合計はいずれも70%を超えています。【図3 - 2 - 17、表3 - 2 - 10】

図3 - 2 - 17 今後の国立市への移住意向

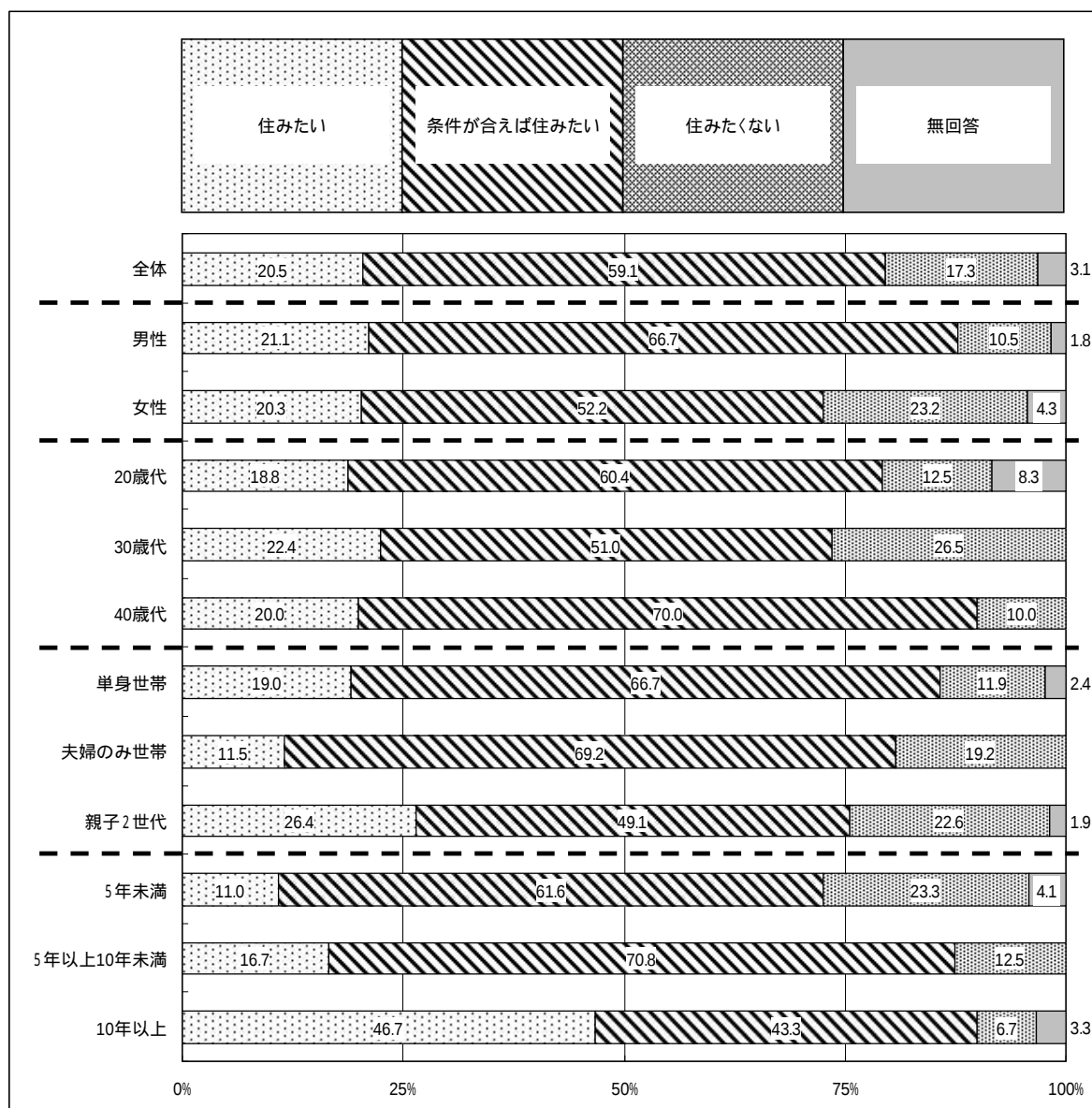


表 3 - 2 - 10 今後の国立市への移住意向
(網掛けは回答比率の第 1 位)

			合計	住みたい	条件が合 えば住み たい	住みたくな い	無回答
全体			実数(件) 127	26	75	22	4
			比率(%) 100.0	20.5	59.1	17.3	3.1
性別	男性	実数(件)	57	12	38	6	1
		比率(%)	100.0	21.1	66.7	10.5	1.8
	女性	実数(件)	69	14	36	16	3
		比率(%)	100.0	20.3	52.2	23.2	4.3
年代	20歳代	実数(件)	48	9	29	6	4
		比率(%)	100.0	18.8	60.4	12.5	8.3
	30歳代	実数(件)	49	11	25	13	-
		比率(%)	100.0	22.4	51.0	26.5	-
	40歳代	実数(件)	30	6	21	3	-
		比率(%)	100.0	20.0	70.0	10.0	-
家族 構成	単身世帯	実数(件)	42	8	28	5	1
		比率(%)	100.0	19.0	66.7	11.9	2.4
	夫婦のみ世帯	実数(件)	26	3	18	5	-
		比率(%)	100.0	11.5	69.2	19.2	-
	親子2世代	実数(件)	53	14	26	12	1
		比率(%)	100.0	26.4	49.1	22.6	1.9
居住 年数	5年未満	実数(件)	73	8	45	17	3
		比率(%)	100.0	11.0	61.6	23.3	4.1
	5年以上10年未満	実数(件)	24	4	17	3	-
		比率(%)	100.0	16.7	70.8	12.5	-
	10年以上	実数(件)	30	14	13	2	1
		比率(%)	100.0	46.7	43.3	6.7	3.3

- 2 国立市に再び住みたい理由

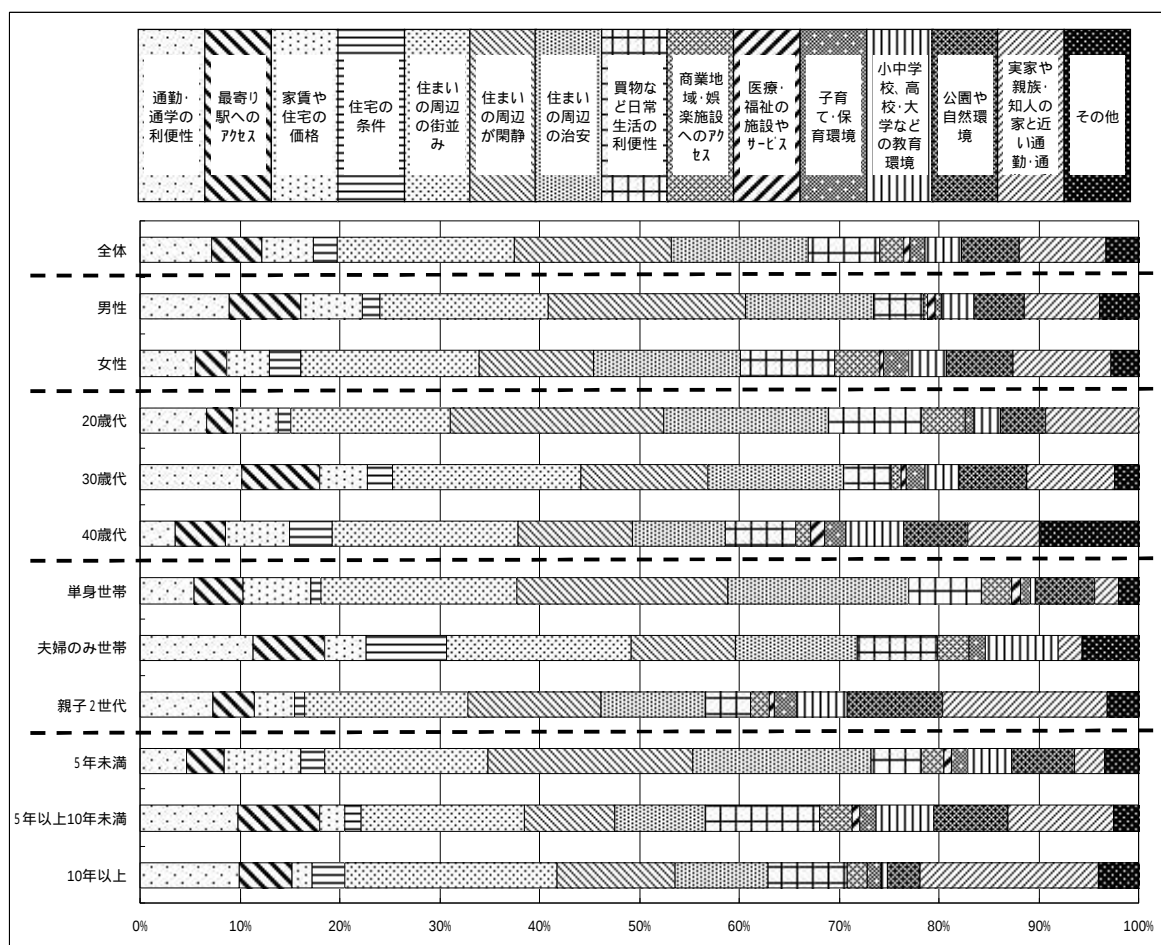
- 優れた都市景観やゆとりと潤いのある良好な住環境を高く評価 -

- 全体では、「住まい周辺の街並みがきれいである」が 17.7% で最も多く、次いで「住まい周辺が閑静である」の 15.8%、「住まい周辺の治安が良い」の 13.7% の順であり、属性別にみても、概ね同様の傾向となっています。【表 3 - 2 - 11、図 3 - 2 - 15】

表 3 - 2 - 11 国立市に再び住みたい理由
(網掛けは回答比率の第 1 位 ~ 3 位)

			合計	通勤・通 学の利 便性が高い	最寄り 駅への アクセス がよい	家賃や 住宅の 価格が 手ごろ である	住宅の 条件(広 さ、設 備、日 当たり などが よい)	住まい の周辺 の街並 みがき れいで ある	住まい の周辺 が閑静 である	住まい の周辺 の治安 が良い	買物な ど日常 生活の 利便性 が高い	商業地 域・娯 楽施設 へのア クセス がよい	医療・福 祉の施 設やサ ービス が充実 してい る	子育て・ 保育環 境が充 実してい る	小・中・ 高・大 学など の教育 環境が 充実して いる	公園や 自然環 境が充 実してい る	実家や 親族・知 人の家 に近い	その他
全体			実数(件) 571	41	29	29	14	101	90	78	41	14	3	9	21	33	49	19
			比率(%) 100.0	7.2	5.1	5.1	2.5	17.7	15.8	13.7	7.2	2.5	0.5	1.6	3.7	5.8	8.6	3.3
性別	男性	実数(件)	279	25	20	17	5	47	55	36	14	1	2	2	9	14	21	11
		比率(%)	100.0	9.0	7.2	6.1	1.8	16.8	19.7	12.9	5.0	0.4	0.7	0.7	3.2	5.0	7.5	3.9
	女性	実数(件)	286	16	9	12	9	51	33	42	27	13	1	7	11	19	28	8
		比率(%)	100.0	5.6	3.1	4.2	3.1	17.8	11.5	14.7	9.4	4.5	0.3	2.4	3.8	6.6	9.8	2.8
年代	20歳代	実数(件)	225	15	6	10	3	36	48	37	21	10	-	2	6	10	21	-
		比率(%)	100.0	6.7	2.7	4.4	1.3	16.0	21.3	16.4	9.3	4.4	-	0.9	2.7	4.4	9.3	-
	30歳代	実数(件)	206	21	16	10	5	39	26	28	10	2	1	4	7	14	18	5
		比率(%)	100.0	10.2	7.8	4.9	2.4	18.9	12.6	13.6	4.9	1.0	0.5	1.9	3.4	6.8	8.7	2.4
	40歳代	実数(件)	140	5	7	9	6	26	16	13	10	2	2	3	8	9	10	14
		比率(%)	100.0	3.6	5.0	6.4	4.3	18.6	11.4	9.3	7.1	1.4	1.4	2.1	5.7	6.4	7.1	10.0
家族 構成	単身世帯	実数(件)	204	11	10	14	2	40	43	37	15	6	2	2	1	12	5	4
		比率(%)	100.0	5.4	4.9	6.9	1.0	19.6	21.1	18.1	7.4	2.9	1.0	1.0	0.5	5.9	2.5	2.0
	夫婦のみ世帯	実数(件)	124	14	9	5	10	23	13	15	10	4	-	2	9	-	3	7
		比率(%)	100.0	11.3	7.3	4.0	8.1	18.5	10.5	12.1	8.1	3.2	-	1.6	7.3	-	2.4	5.6
	親子2世代	実数(件)	219	16	9	9	2	36	29	23	10	4	1	5	11	21	36	7
		比率(%)	100.0	7.3	4.1	4.1	0.9	16.4	13.2	10.5	4.6	1.8	0.5	2.3	5.0	9.6	16.4	3.2
居住 年数	5年未満	実数(件)	298	14	11	23	7	49	61	53	15	7	2	5	13	19	9	10
		比率(%)	100.0	4.7	3.7	7.7	2.3	16.4	20.5	17.8	5.0	2.3	0.7	1.7	4.4	6.4	3.0	3.4
	5年以上10年未満	実数(件)	122	12	10	3	2	20	11	11	14	4	1	2	7	9	13	3
		比率(%)	100.0	9.8	8.2	2.5	1.6	16.4	9.0	9.0	11.5	3.3	0.8	1.6	5.7	7.4	10.7	2.5
	10年以上	実数(件)	151	15	8	3	5	32	18	14	12	3	-	2	1	5	27	6
		比率(%)	100.0	9.9	5.3	2.0	3.3	21.2	11.9	9.3	7.9	2.0	-	1.3	0.7	3.3	17.9	4.0

図 3 - 2 - 18 国立市に再び住みたい理由



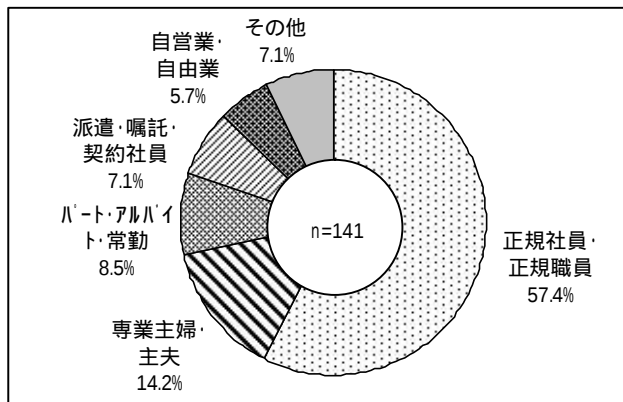
4 資料編

本項では、前項までの中には掲載していない質問項目を対象に、その集計結果を掲載しています。

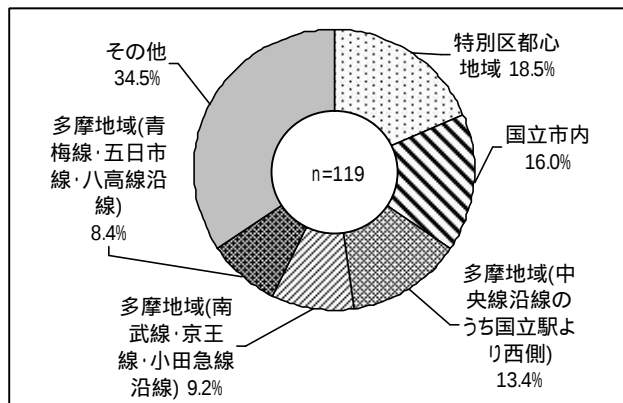
(1) 転入アンケート調査

(1) - 1 基本属性

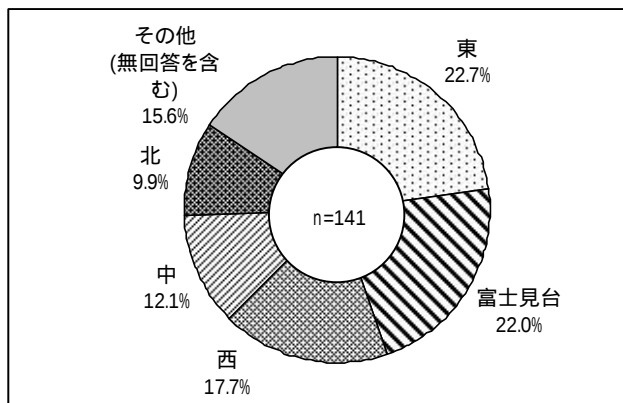
職業



通勤・通学先



現在の住まいの地域



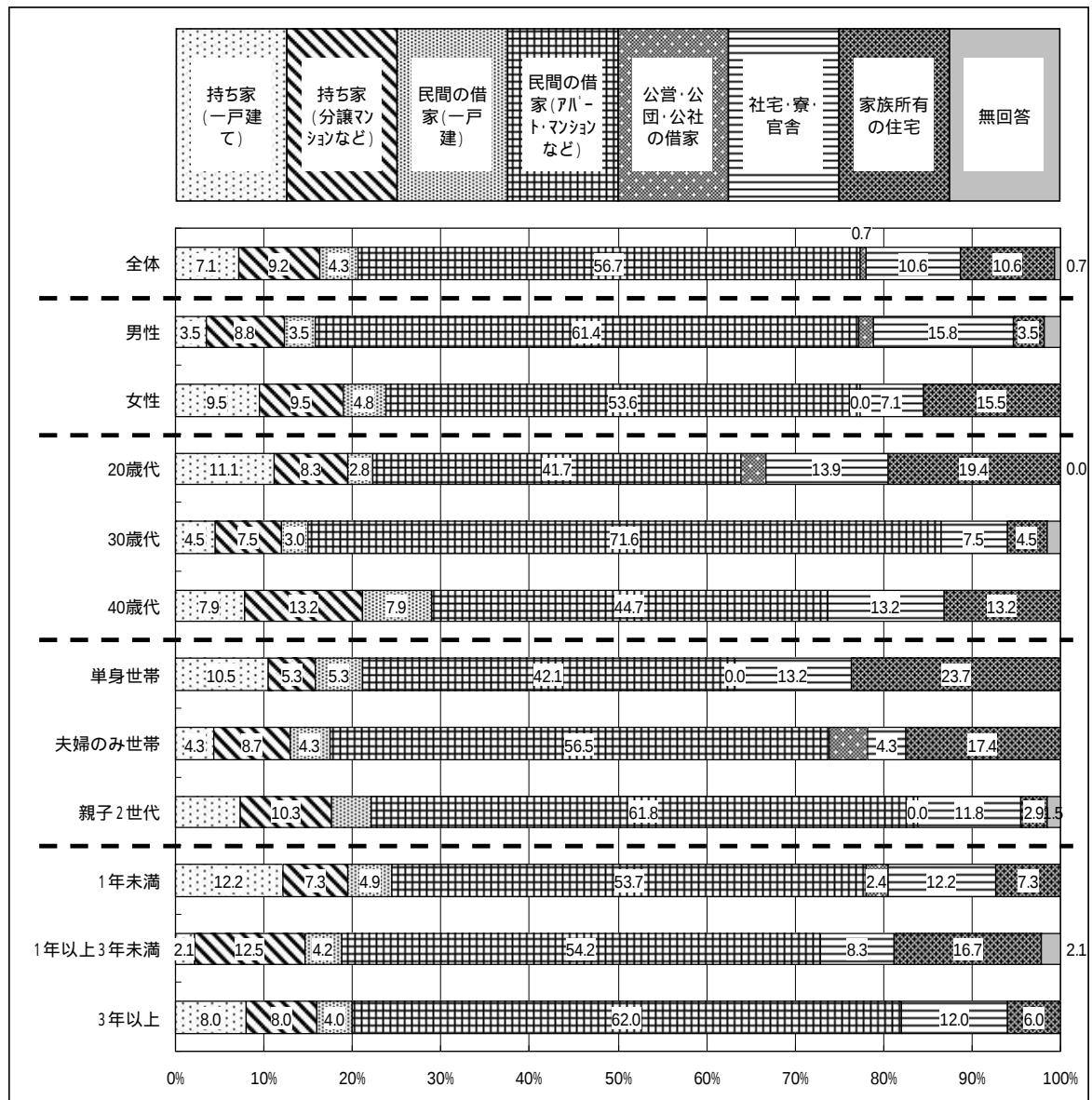
(1) - 2 以前と現在の住まい

転入前の居住地（網掛けは回答比率の第1位）

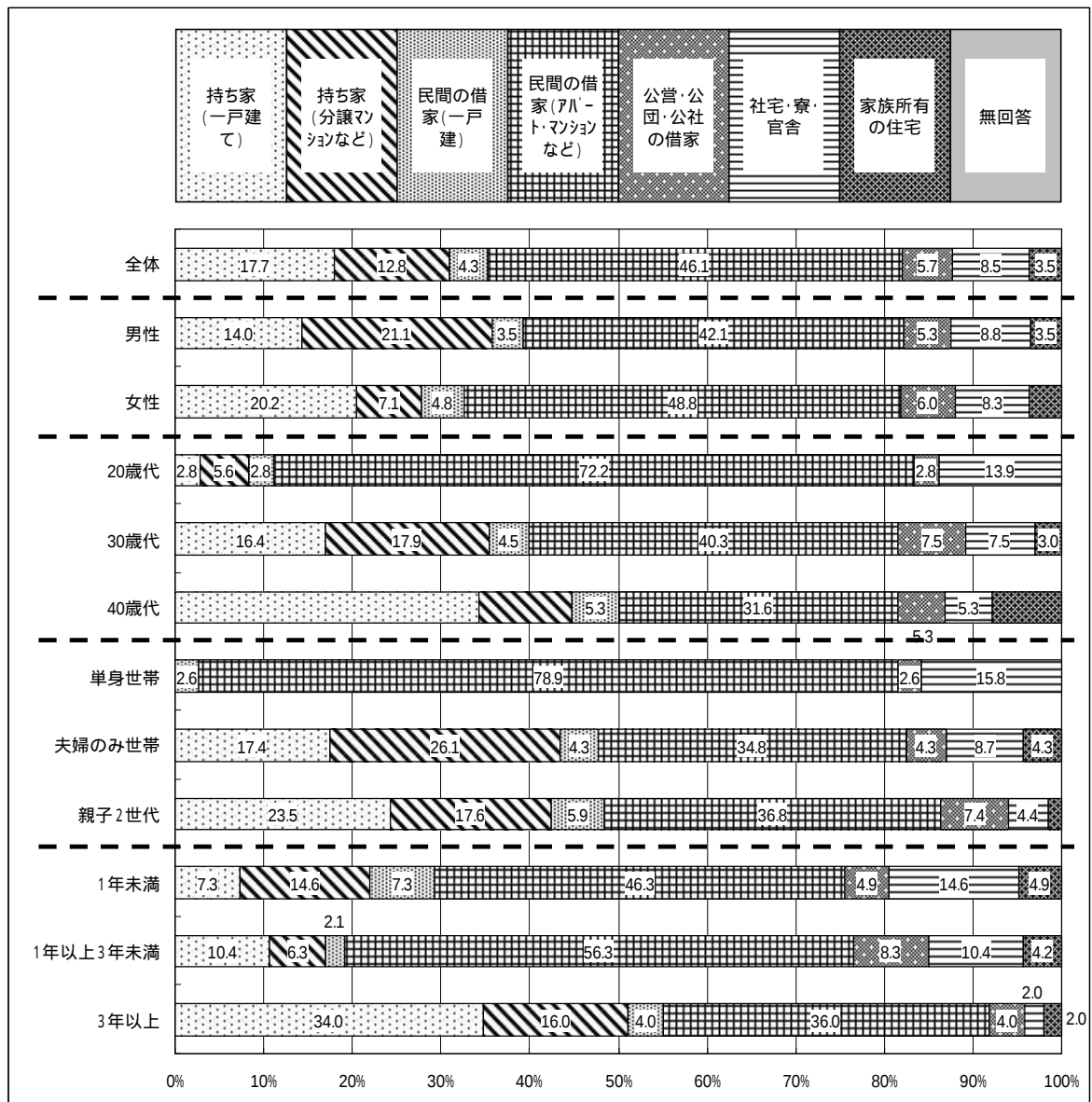
		合計	立川市	国分寺市	府中市	八王子市	日野市	昭島市	小平市	三鷹市	小金井市	調布市	武蔵野市	杉並区	中野区	世田谷区	練馬区	その他	無回答
全体	実数(件)	141	11	9	11	4	2	1	1	1	1	4	4	1	5	2	4	79	1
	比率(%)	100.0	7.8	6.4	7.8	2.8	1.4	0.7	0.7	0.7	0.7	2.8	2.8	0.7	3.5	1.4	2.8	56.0	0.7
性別	男性	57	3	5	6	1	1	1	-	1	-	1	2	-	1	1	2	31	1
	比率(%)	100.0	5.3	8.8	10.5	1.8	1.8	1.8	-	1.8	-	1.8	3.5	-	1.8	1.8	3.5	54.4	1.8
	女性	84	8	4	5	3	1	-	1	-	1	3	2	1	4	1	2	48	-
	比率(%)	100.0	9.5	4.8	6.0	3.6	1.2	-	1.2	-	1.2	3.6	2.4	1.2	4.8	1.2	2.4	57.1	-
年代	20歳代	36	4	2	3	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	24	-
	比率(%)	100.0	11.1	5.6	8.3	-	-	-	2.8	-	-	-	5.6	-	-	-	-	66.7	-
	30歳代	67	4	4	6	3	2	1	-	-	1	3	2	1	3	1	2	33	1
	比率(%)	100.0	6.0	6.0	9.0	4.5	3.0	1.5	-	-	1.5	4.5	3.0	1.5	4.5	1.5	3.0	49.3	1.5
	40歳代	38	3	3	2	1	-	-	-	1	-	1	-	-	2	1	2	22	-
	比率(%)	100.0	7.9	7.9	5.3	2.6	-	-	-	2.6	-	2.6	-	-	5.3	2.6	5.3	57.9	-
家族構成	単身世帯	38	2	1	3	1	-	-	1	-	-	-	3	-	1	-	1	25	-
	比率(%)	100.0	5.3	2.6	7.9	2.6	-	-	2.6	-	-	-	7.9	-	2.6	-	2.6	65.8	-
	夫婦のみ世帯	23	3	3	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	14	-
	比率(%)	100.0	13.0	13.0	-	4.3	4.3	-	-	-	-	-	4.3	-	-	-	-	60.9	-
	親子2世代	68	5	3	6	2	1	1	-	1	1	4	-	1	3	2	3	34	1
	比率(%)	100.0	7.4	4.4	8.8	2.9	1.5	1.5	-	1.5	1.5	5.9	-	1.5	4.4	2.9	4.4	50.0	1.5
居住年数	1年未満	41	2	3	1	1	1	-	-	-	-	1	2	-	2	-	1	27	-
	比率(%)	100.0	4.9	7.3	2.4	2.4	2.4	-	-	-	-	2.4	4.9	-	4.9	-	2.4	65.9	-
	1年以上3年未満	48	6	2	5	2	-	1	1	1	1	-	-	1	2	-	1	24	1
	比率(%)	100.0	12.5	4.2	10.4	4.2	-	2.1	2.1	2.1	2.1	-	-	2.1	4.2	-	2.1	50.0	2.1
	3年以上	50	3	4	5	1	1	-	-	-	-	3	1	-	1	2	2	27	-
	比率(%)	100.0	6.0	8.0	10.0	2.0	2.0	-	-	-	-	6.0	2.0	-	2.0	4.0	4.0	54.0	-
居住地域	北	14	2	1	1	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-
	比率(%)	100.0	14.3	7.1	7.1	21.4	-	-	-	7.1	-	-	-	-	-	-	-	42.9	-
	東	32	1	3	1	1	1	-	1	-	-	1	1	-	3	1	1	16	1
	比率(%)	100.0	3.1	9.4	3.1	3.1	3.1	-	3.1	-	-	3.1	3.1	-	9.4	3.1	3.1	50.0	3.1
	富士見台	31	2	1	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	20	-
	比率(%)	100.0	6.5	3.2	16.1	-	-	-	-	-	3.2	-	-	-	3.2	-	3.2	64.5	-
	中	17	-	2	1	-	1	-	-	-	-	1	2	1	-	1	1	7	-
	比率(%)	100.0	-	11.8	5.9	-	5.9	-	-	-	-	5.9	11.8	5.9	-	5.9	5.9	41.2	-
	西	25	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	20	-
	比率(%)	100.0	8.0	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	-	4.0	80.0	-
	谷保	10	2	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-
	比率(%)	100.0	20.0	10.0	-	-	-	10.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	40.0	-
	泉	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	比率(%)	100.0	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-
	青柳	5	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	比率(%)	100.0	40.0	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-

転入前後の住まいの形態

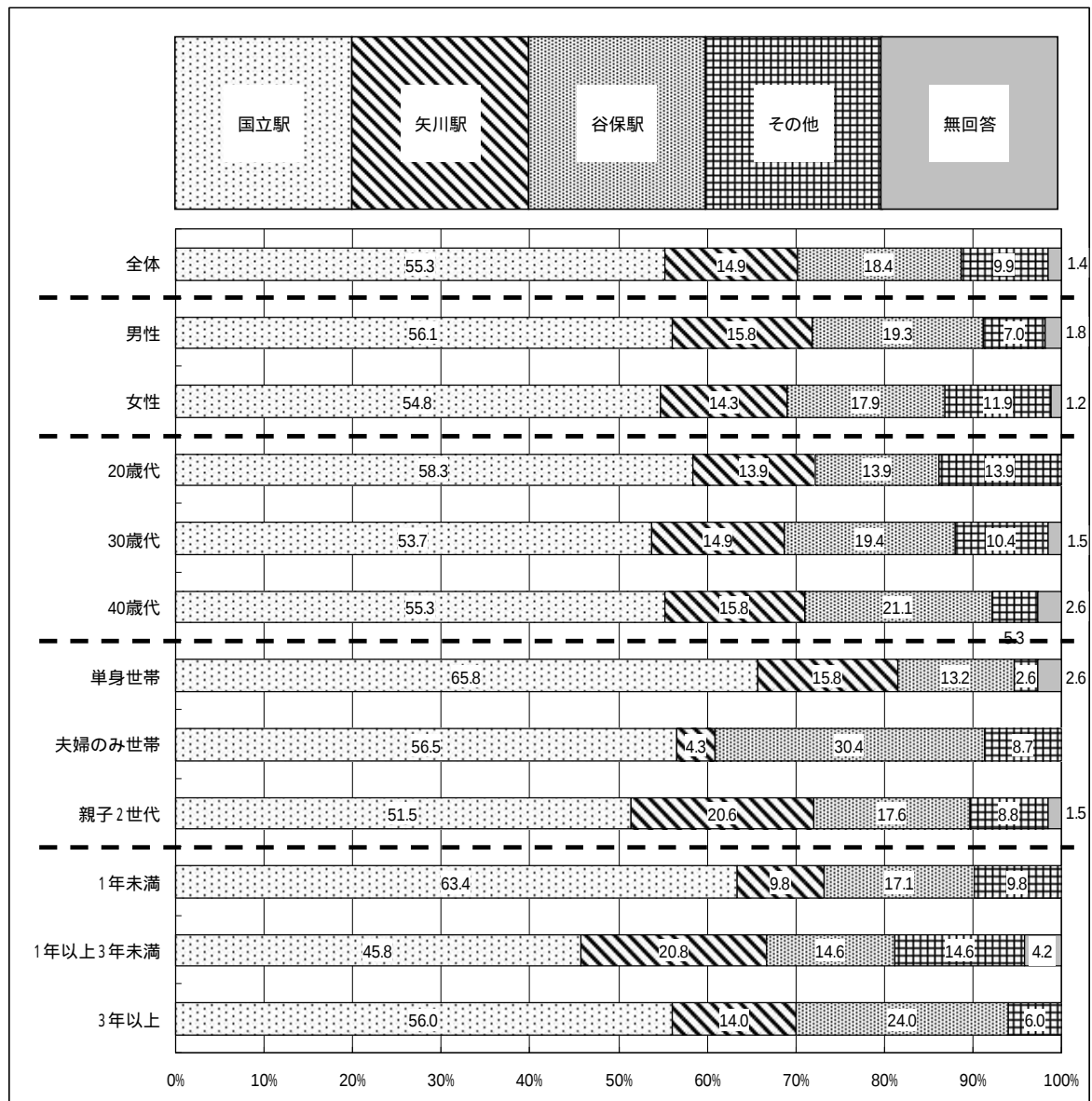
< 転入前 >



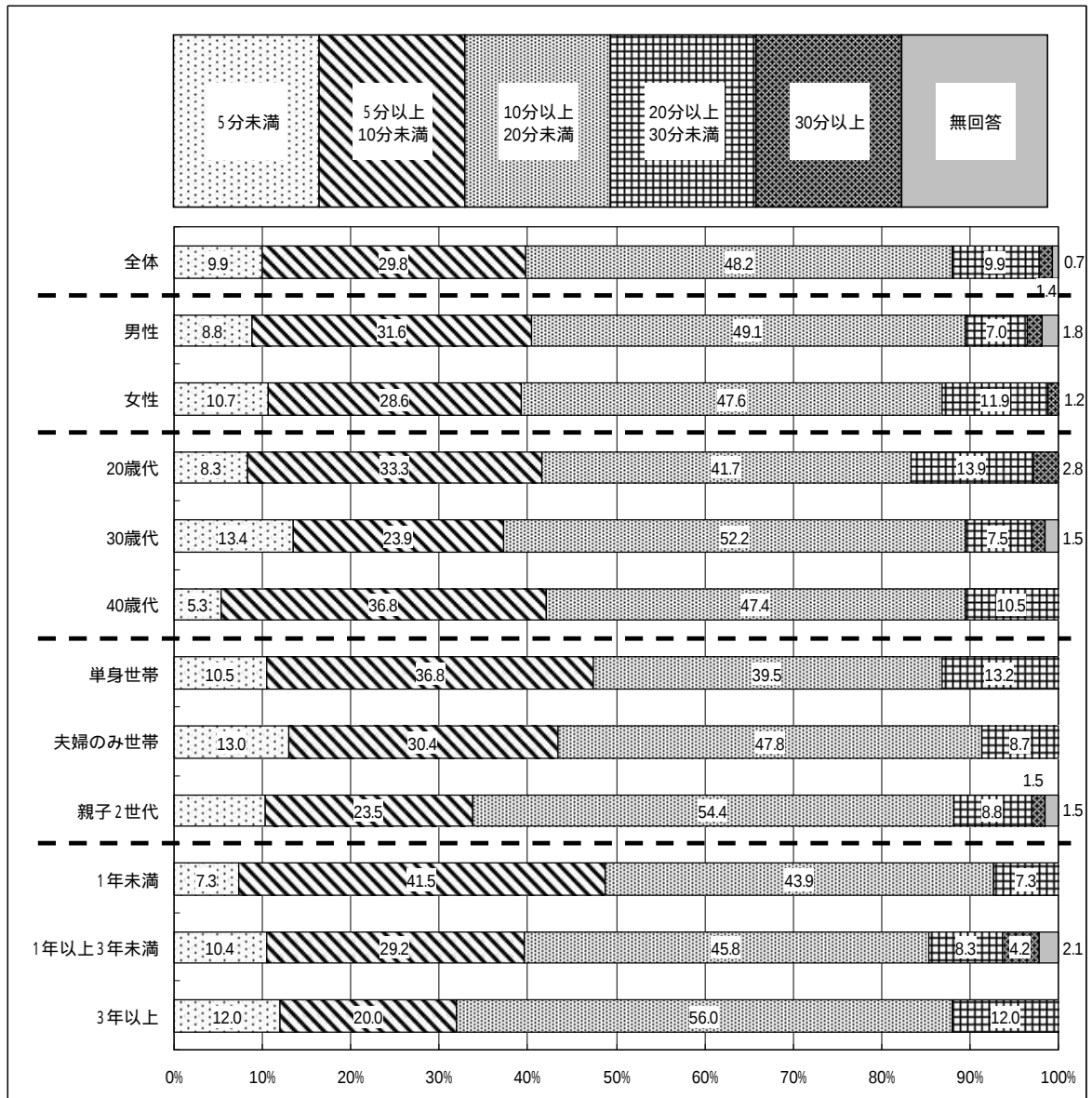
< 転入後 >



自宅の最寄り駅

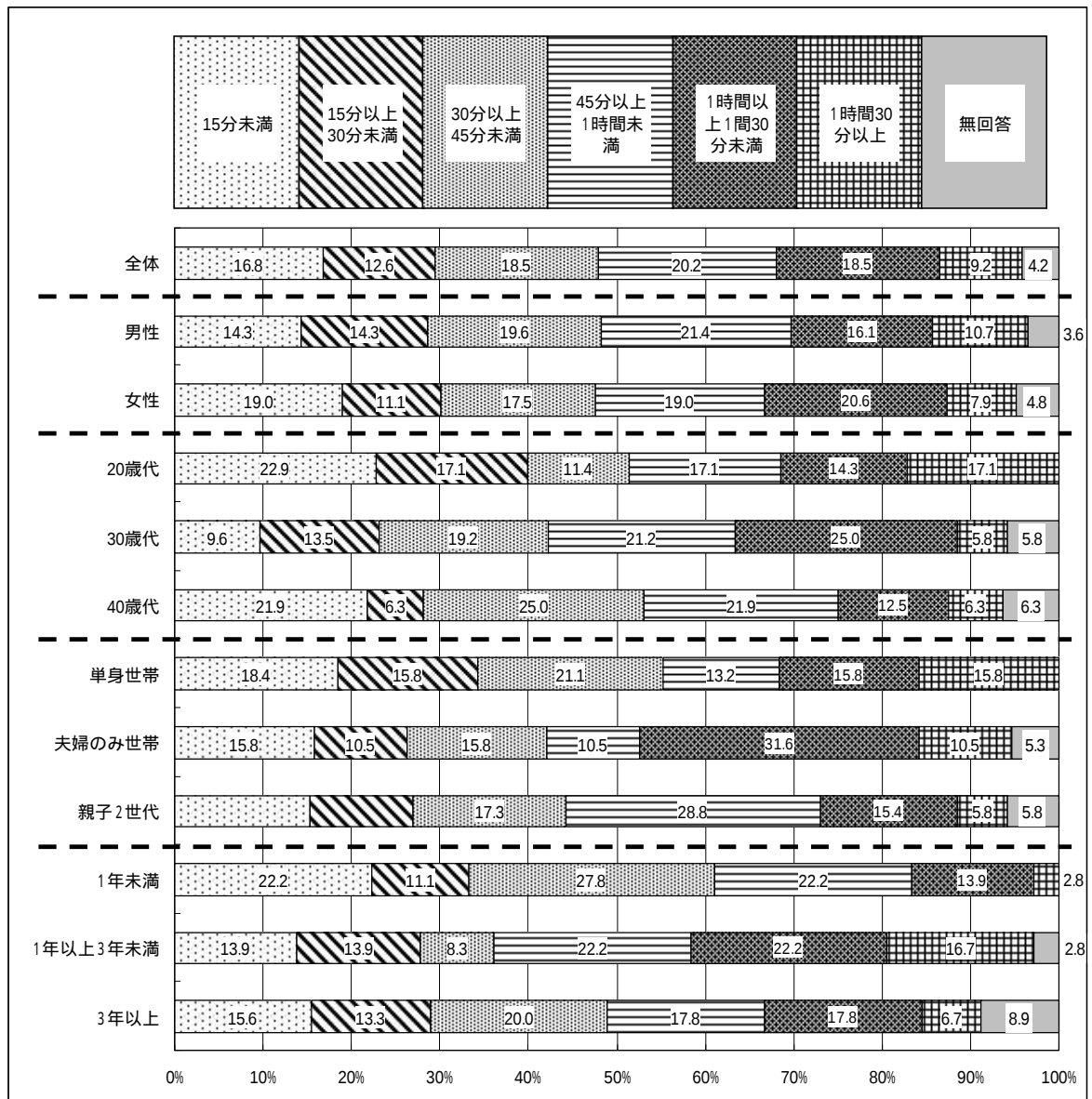


徒歩による最寄り駅から自宅までの所要時間

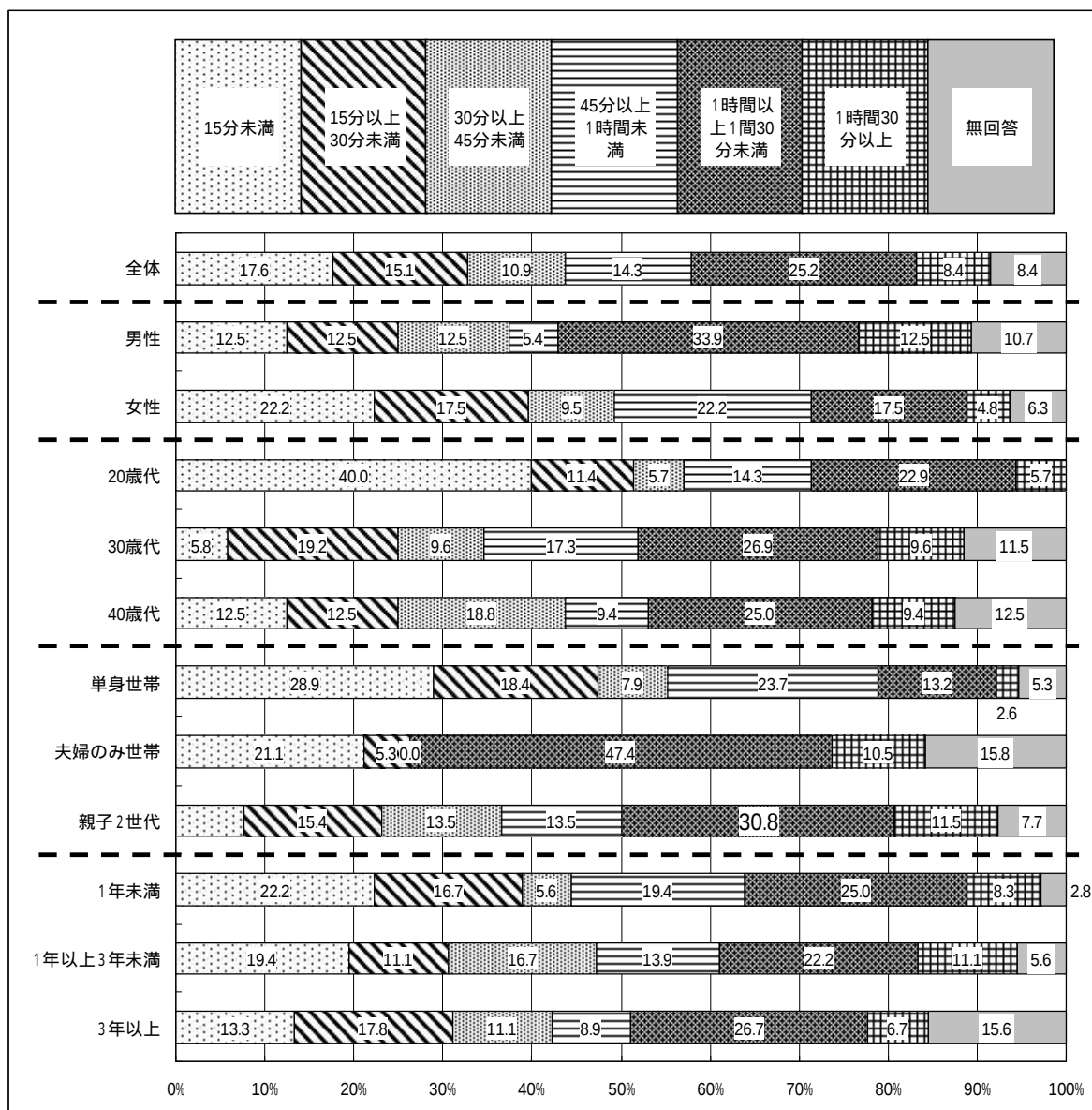


通勤・通学先と自宅までの所要時間（転入前後）

< 転入前 >



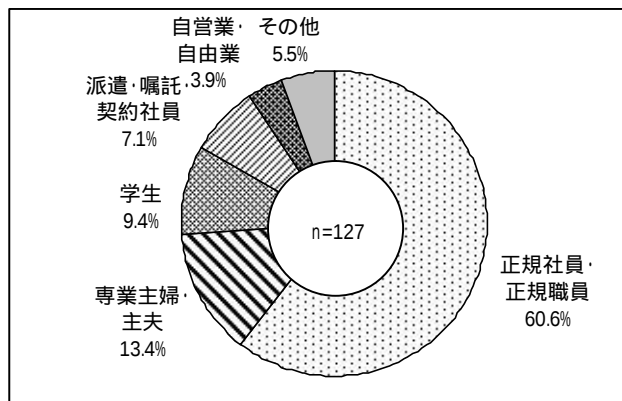
< 転入後 >



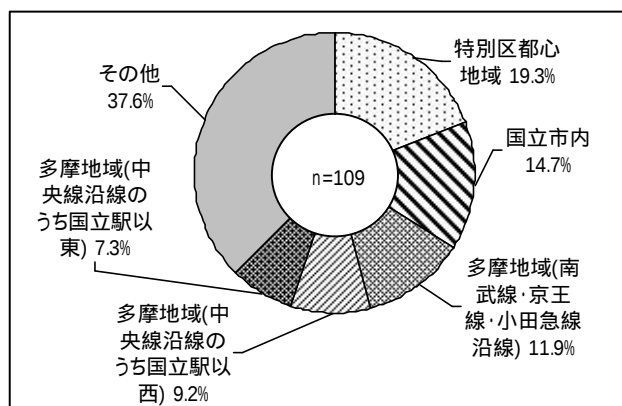
2 転出アンケート調査

(1) 基本属性

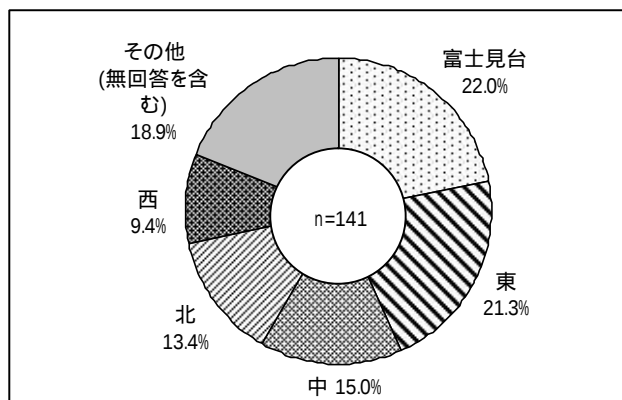
職業



通勤・通学先



以前の住まいの地域



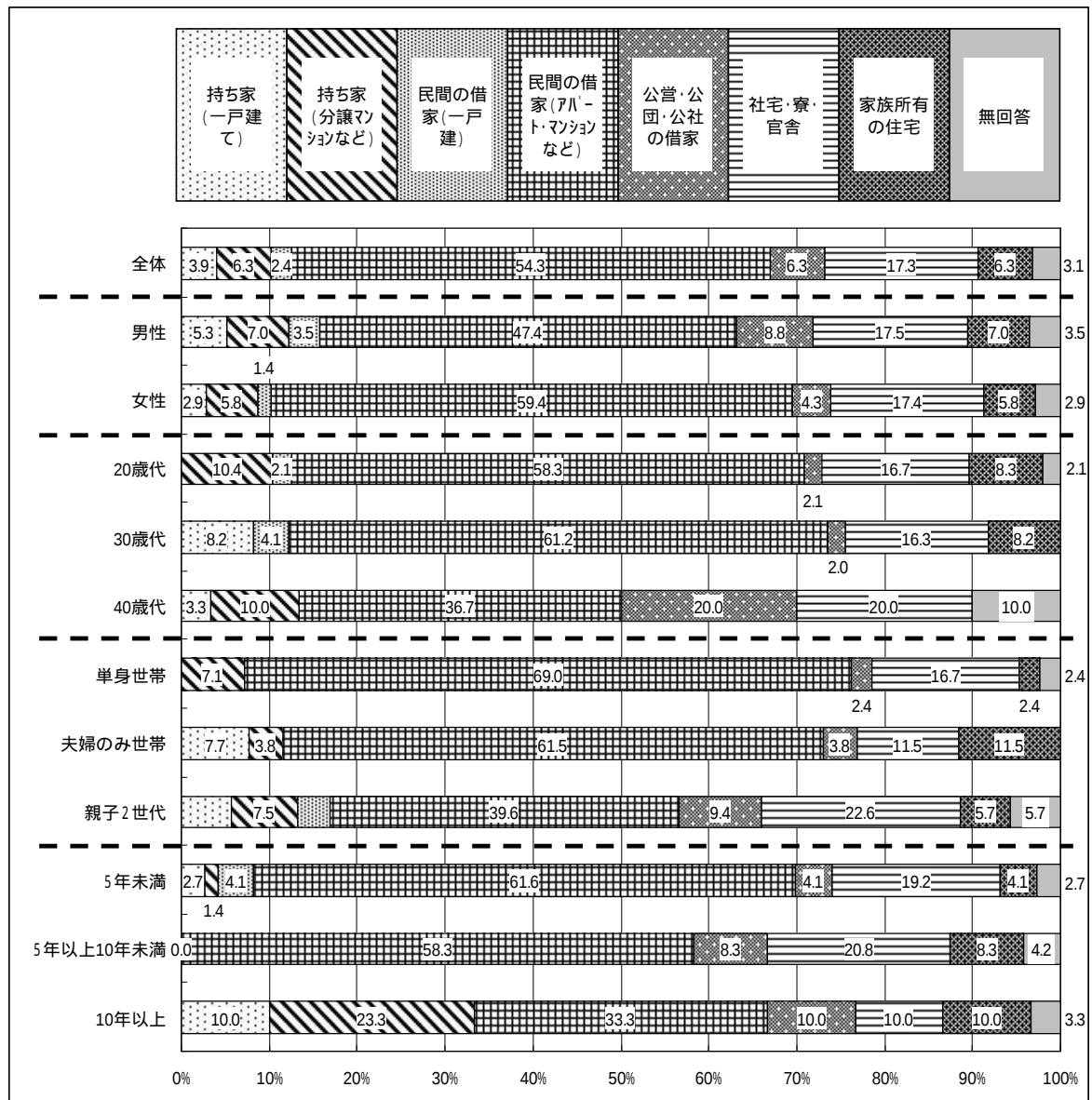
(2) 以前と現在の住まい

転出後の居住地（網掛けは回答比率の第1位）

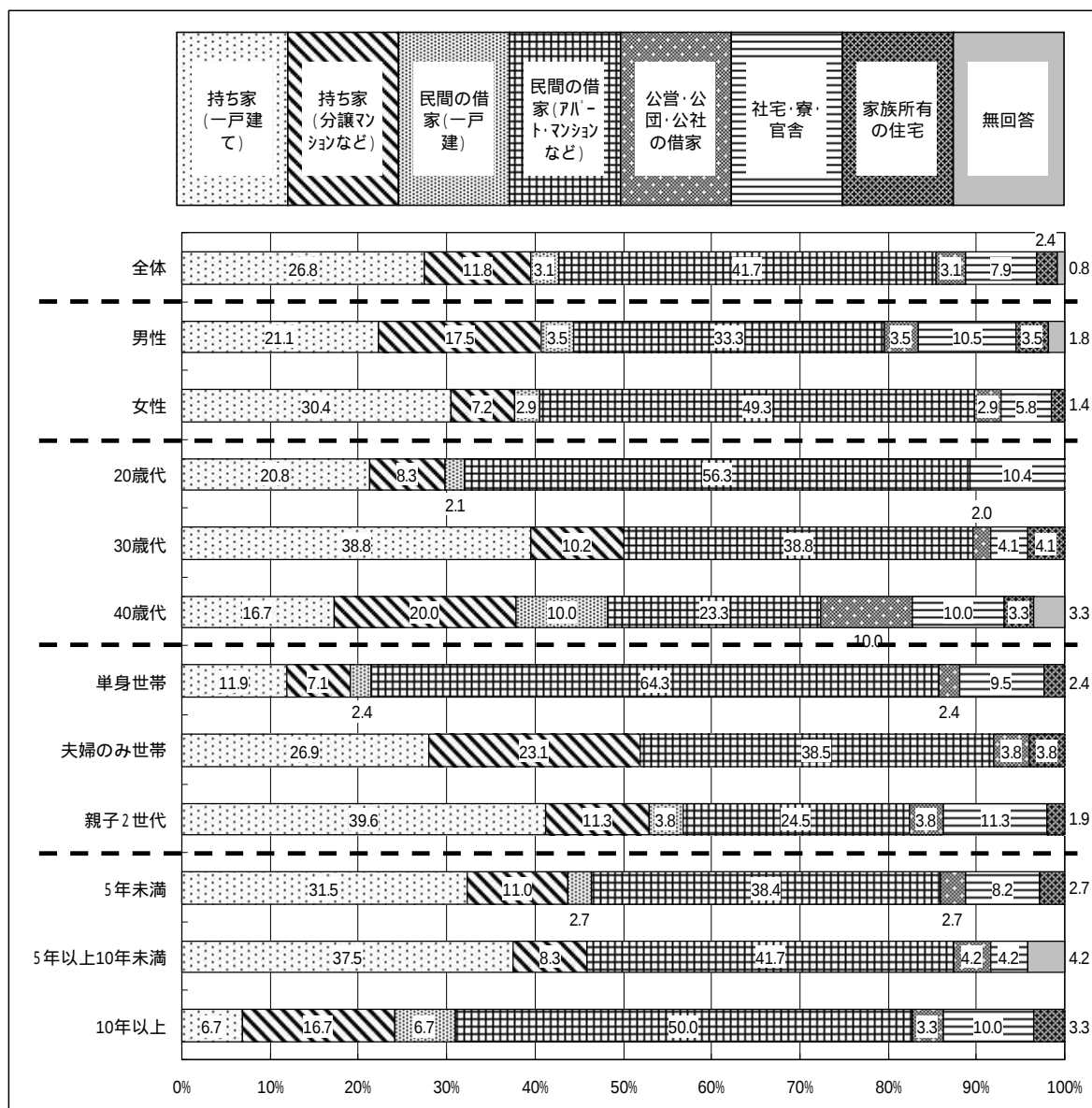
		合計	立川市	国分寺市	府中市	八王子市	日野市	昭島市	小平市	三鷹市	小金井市	調布市	武蔵野市	杉並区	中野区	世田谷区	練馬区	その他	無回答
全体	実数(件)	127	13	5	9	4	4	2	5	4	2	1	1	6	4	6	2	57	2
	比率(%)	100.0	10.2	3.9	7.1	3.1	3.1	1.6	3.9	3.1	1.6	0.8	0.8	4.7	3.1	4.7	1.6	44.9	1.6
性別	男性	57	8	4	3	2	3	1	2	3	2	-	1	2	1	2	2	20	1
	比率(%)	100.0	14.0	7.0	5.3	3.5	5.3	1.8	3.5	5.3	3.5	-	1.8	3.5	1.8	3.5	3.5	35.1	1.8
	女性	69	4	1	6	2	1	1	3	1	-	1	-	4	3	4	-	37	1
	比率(%)	100.0	5.8	1.4	8.7	2.9	1.4	1.4	4.3	1.4	-	1.4	-	5.8	4.3	5.8	-	53.6	1.4
年代	20歳代	48	5	1	1	3	-	-	1	-	1	-	-	3	3	1	1	27	1
	比率(%)	100.0	10.4	2.1	2.1	6.3	-	-	2.1	-	2.1	-	-	6.3	6.3	2.1	2.1	56.3	2.1
	30歳代	49	5	4	3	-	4	1	2	2	1	1	1	3	1	2	-	19	-
	比率(%)	100.0	10.2	8.2	6.1	-	8.2	2.0	4.1	4.1	2.0	2.0	2.0	6.1	2.0	4.1	-	38.8	-
	40歳代	30	3	-	5	1	-	1	2	2	-	-	-	-	-	3	1	11	1
	比率(%)	100.0	10.0	-	16.7	3.3	-	3.3	6.7	6.7	-	-	-	-	-	10.0	3.3	36.7	3.3
家族構成	単身世帯	42	4	1	2	2	-	-	1	1	-	-	-	3	1	1	1	25	-
	比率(%)	100.0	9.5	2.4	4.8	4.8	-	-	2.4	2.4	-	-	-	7.1	2.4	2.4	2.4	59.5	-
	夫婦のみ世帯	26	1	3	1	1	2	1	-	3	1	-	1	1	2	2	-	6	1
	比率(%)	100.0	3.8	11.5	3.8	3.8	7.7	3.8	-	11.5	3.8	-	3.8	3.8	7.7	7.7	-	23.1	3.8
	親子2世代	53	6	1	5	1	2	1	4	-	1	1	-	2	1	3	1	23	1
	比率(%)	100.0	11.3	1.9	9.4	1.9	3.8	1.9	7.5	-	1.9	1.9	-	3.8	1.9	5.7	1.9	43.4	1.9
居住年数	5年未満	73	9	2	4	3	3	1	3	3	1	-	1	4	3	1	2	32	1
	比率(%)	100.0	12.3	2.7	5.5	4.1	4.1	1.4	4.1	4.1	1.4	-	1.4	5.5	4.1	1.4	2.7	43.8	1.4
	5年以上10年未満	24	3	2	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	3	-	11	1
	比率(%)	100.0	12.5	8.3	8.3	-	-	-	4.2	-	4.2	-	-	-	-	12.5	-	45.8	4.2
	10年以上	30	1	1	3	1	1	1	1	1	-	1	-	2	1	2	-	14	-
	比率(%)	100.0	3.3	3.3	10.0	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	-	3.3	-	6.7	3.3	6.7	-	46.7	-
居住地域	北	17	3	-	1	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	9	1
	比率(%)	100.0	17.6	-	5.9	-	-	5.9	5.9	-	-	-	5.9	-	-	-	-	52.9	5.9
	東	27	1	-	2	-	1	-	2	1	-	-	-	3	2	2	1	12	-
	比率(%)	100.0	3.7	-	7.4	-	3.7	-	7.4	3.7	-	-	-	11.1	7.4	7.4	3.7	44.4	-
	富士見台	28	3	2	2	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	2	1	15	-
	比率(%)	100.0	10.7	7.1	7.1	-	-	-	7.1	-	-	-	-	3.6	-	7.1	3.6	53.6	-
	中	19	-	1	1	1	1	-	2	1	-	1	-	2	2	2	-	7	-
	比率(%)	100.0	-	5.3	5.3	5.3	5.3	-	10.5	5.3	-	5.3	-	10.5	10.5	10.5	-	36.8	-
	西	12	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	6	-
	比率(%)	100.0	8.3	16.7	-	-	-	-	8.3	-	-	-	-	16.7	-	-	-	50.0	-
	谷保	11	-	-	2	3	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1
	比率(%)	100.0	-	-	18.2	27.3	9.1	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-	18.2	9.1
	泉	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
	比率(%)	100.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	-
	青柳	3	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	比率(%)	100.0	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矢川・石田	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
	比率(%)	100.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0	-

転出前後の住まいの形態

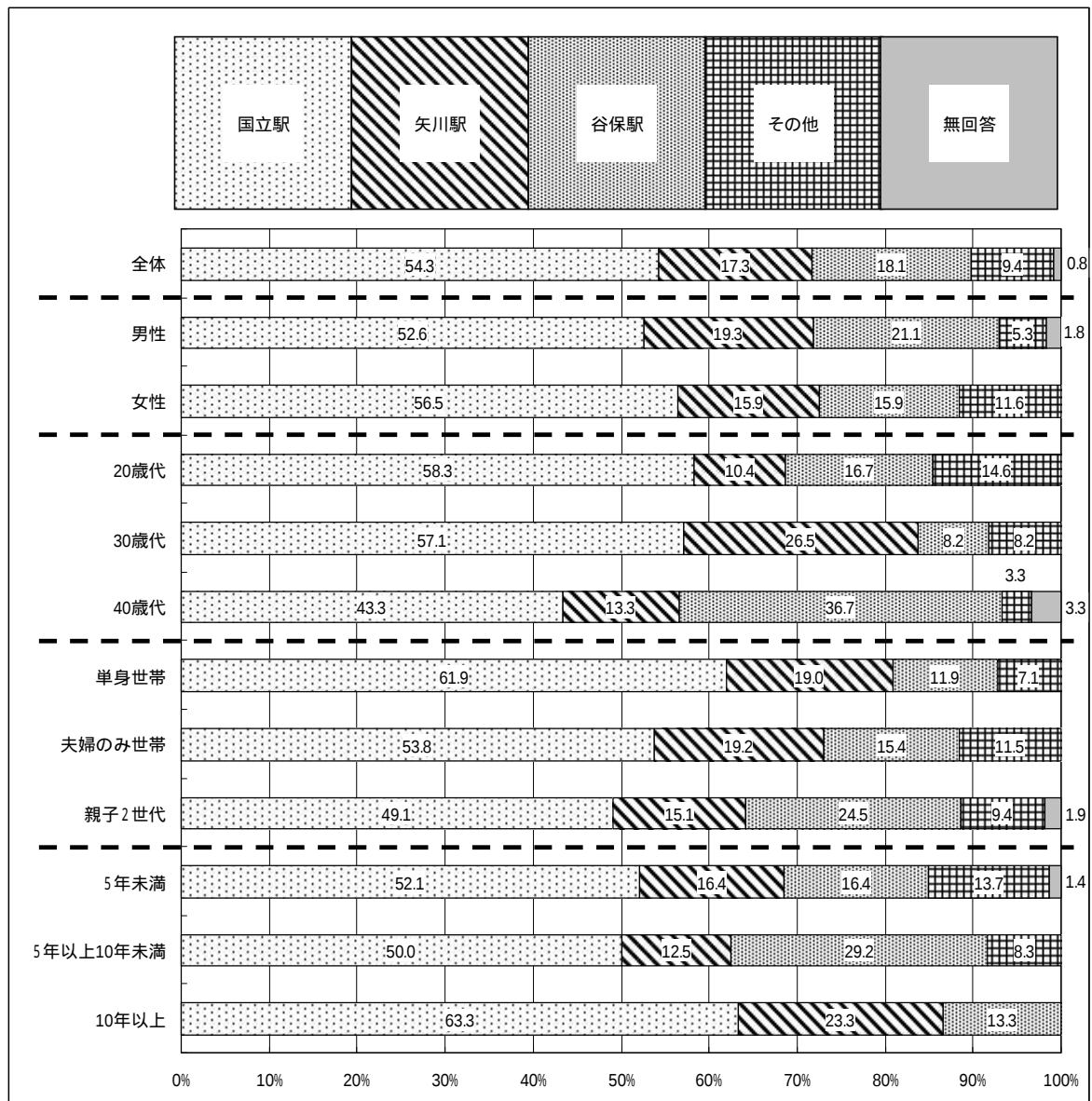
< 転出前 >



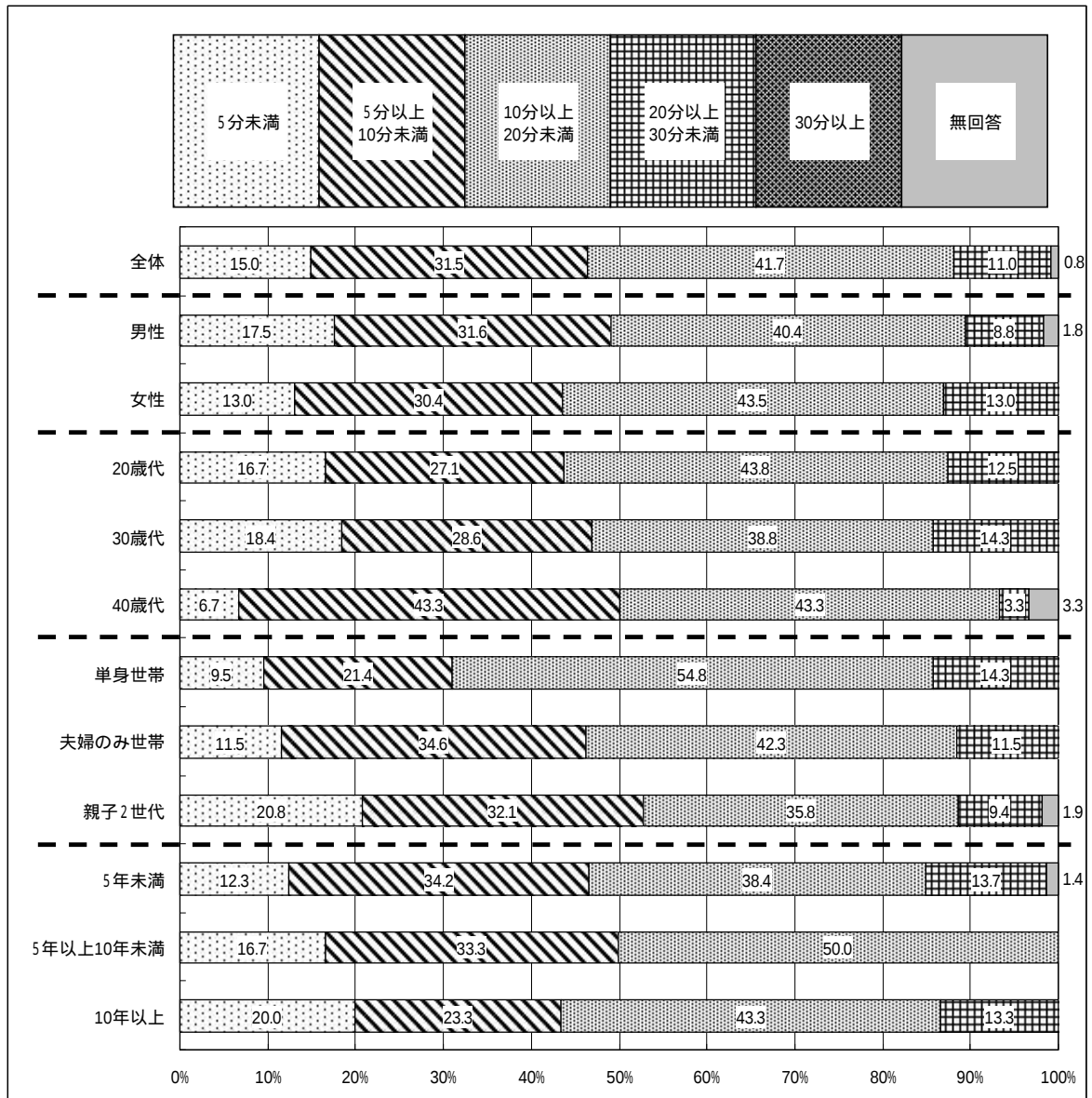
< 転出後 >



国立市に在住時の最寄り駅

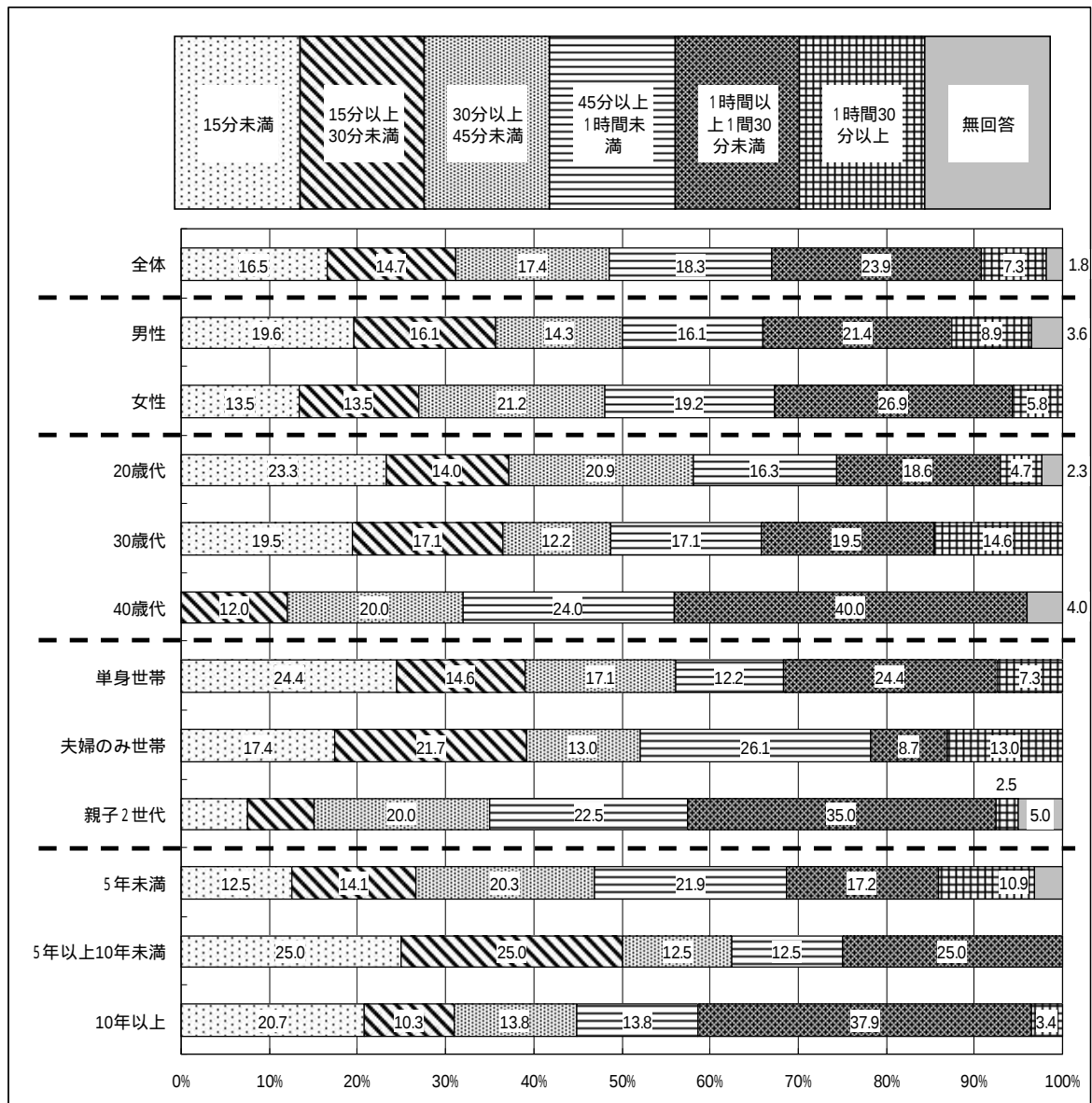


徒歩による国立市に在住時の最寄り駅から自宅までの所要時間



通勤・通学先と自宅までの所要時間（転出前後）

< 転出前 >



< 転出後 >

